

高等学校 令和7年度（1 学年用）教科 国語 科目 現代の国語

教科：国語 科目：現代の国語 単位数：2 単位
対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組
教科担当者：（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）
使用教科書：（ 現代の国語（筑摩書房） ）
教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高める。
- 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深める。	言葉がもつ価値への認識を深めようとするとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	「境目」 【知識及び技能】 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討させる。 【学びに向かう力、人間性等】 発表の態度を積極的にして、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方を深めさせる。	・指導事項 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うこと。 ・教材 新国語総合ガイド・入試頻出漢字＋現代文重要語彙TOP2500・三訂版 プログレス現代文総演習基本編 ・一人1台端末の活用 等 Classi Note他	○	○	○	【知識・技能】 ア)「境目」という言葉を通して、言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 イ)「境目」について発表をする際に、個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 【思考・判断・表現】 目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 教材の内容、他者との関係、自分の「境目」（中学から高校への「境目」など）に関心を持っている。（発問・授業時の態度）	○	○	○	6
	「ことばとは何か」 【知識及び技能】 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文章の中でしっかりと理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握させる。 【学びに向かう力、人間性等】 内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めさせる。	・指導事項 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解させ、話や文章の中で使うことを通して、言語感覚を磨き語彙を豊かにする。 ・教材 新国語総合ガイド・入試頻出漢字＋現代文重要語彙TOP2500・三訂版 プログレス現代文総演習基本編 ・一人1台端末の活用 等 Classi Note他	○	○	○	【知識・技能】 本教材を通して、主張と論拠など情報の関係について理解し、推論の仕方を理解して使っている。 【思考・判断・表現】 評論文という文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 教材の内容に関心を持ち、「情報のデジタル化」ということに関心を持っている。また、この文章を学習することで、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。	○	○	○	6
	「デジタル社会」 【知識及び技能】 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文章の中でしっかりと理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握させる。 【学びに向かう力、人間性等】 内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めさせる。	・指導事項 情報のデジタル化について論じた現代社会論を読むことを通して、人間にとってテクノロジーが単なる道具ではなく、人間存在をも変容させる力を持つものであることを、対比、具体例など多様な手法を用いて論じている文章を読むことをとおして現代社会で生きる力を身に付ける。 ・教材 新国語総合ガイド・入試頻出漢字＋現代文重要語彙TOP2500・三訂版 プログレス現代文総演習基本編 ・一人1台端末の活用 等 Classi Note他	○	○	○	【知識・技能】 本教材を通して、主張と論拠など情報との関係について理解し、推論の仕方を理解して使っている。 【思考・判断・表現】 評論文という文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 教材の内容に関心を持ち、「情報のデジタル化」ということに関心を持っている。また、この文章を学習することで、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。	○	○	○	6
	定期考査		○	○			○	○		1

1 学 期	「身体この遠きもの」 【知識及び技能】 比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使うこと。 【思考力、判断力、表現力等】 目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にすること。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な身体という存在が、不思議な性質を持っているということのおもしろさに気付くこと。	・指導事項 身体を持つ特殊性が、自分自身の社会的な問題にどうつながっているかを考えさせる。議論における具体例の働きを理解させる。 ・教材 新国語総合ガイド・入試頻出漢字＋現代文重要語彙TOP2500・三訂版 プログレス現代文総演習基本編 ・一人1台端末の活用 等 Classi Note他	○	○	○	【知識・技能】 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。また、学習活動の中で文章を書いたり発表したりする際に、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 【思考・判断・表現】 本文中の会話部分以外のカギカッコについて、どんなことばに付されているか、何を基準にどのような目的で付されているかを理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 教材の内容に関心を持ち、具体と抽象の関係に関心を持っている。ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの考え方を深めようとしている。	○	○	○	7
	「わかっていることいないこと」 【知識及び技能】 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うこと。 【思考力、判断力、表現力等】 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。 【学びに向かう力、人間性等】 グラフが用いられている新聞記事やオンラインニュースなどを選び、どのようなグラフが用いられているか、またそのグラフがどのような働きをしているかを調べ、発表させる。	・指導事項 文章の論点を把握させるとともに、教材に用いられたグラフの読み方を学び、グラフにはほかにどのような種類のものがあるのか、またそれぞれのグラフにはどのような特徴があるのか、実際のグラフの具体例をもとに調べさせる。 ・教材 新国語総合ガイド・入試頻出漢字＋現代文重要語彙TOP2500・三訂版 プログレス現代文総演習基本編 ・一人1台端末の活用 等 Classi Note他	○	○	○	【知識・技能】 本教材を通して推論の仕方を理解し使うことができる。また、グラフを調べ、情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うことができる。 【思考・判断・表現】 ア) 評論文や実用文という文章の種類を踏まえ、内容や構成、論理の展開などについて的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。 イ) 目的に応じて、文章や図表などの含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて、評価したりするとともに、自分の考えを深めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 グラフを読み解く学習の内容に関心を持っている。発表の態度は積極的で、他の人の発表も注意深く聞き、ものの考え方を深めようとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○			○	○	1
2 学 期	「〈私〉時代のデモクラシー」 【知識及び技能】 主張と論拠など情報と情報との関係について理解させる。我が国の言語文化に関する事項を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの目的や状況に応じて、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫させる。 【学びに向かう力、人間性等】 教材の内容に関心を持つ。〈発問・授業時の反応〉／発表を積極的に行わせ、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めさせる。〈授業時の反応〉	・指導事項 ①「近代社会」と「伝統的な社会」を比較し、「近代社会」の特徴を箇条書きでまとめる。 ②「デモクラシー」（民主政治）の成り立ちについて調べ、その結果をグループで共有する。 ③筆者の意見を踏まえて、関心を持った社会問題やニュースについて議論する。 ・教材 新国語総合ガイド・入試頻出漢字＋現代文重要語彙TOP2500・三訂版 プログレス現代文総演習基本編 ・一人1台端末の活用 等 Classi Note他	○	○	○	【知識・技能】 教材を指名読みしたり、ノートに内容をまとめたりする際に常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。自分の主張を行う際に、主張と論拠など情報と情報との関係について理解することができる。 【思考・判断・表現】 目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討することができる。 自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりすることができる。	○	○	○	7
	「ポスト真実時代のジャーナリズム」 【知識及び技能】 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 論理的文章であることを踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握させる。 【学びに向かう力、人間性等】 教材の内容に関心を持たせ、ものの見方、感じ方、考え方を深めさせる。	・指導事項 ①教材本文に用いられている論理学の用語について、その意味を調べる。 ②「ポスト真実の時代」における社会状況の理解を深めながら、現代における「メディアやジャーナリズム」の役割を考える。 ③「言語活動」を通して、メディア・リテラシーの力を向上させる。 ・教材 新国語総合ガイド・入試頻出漢字＋現代文重要語彙TOP2500・三訂版 プログレス現代文総演習基本編 ・一人1台端末の活用 等 Classi Note他	○	○	○	【知識・技能】 本教材を指名読みしたり、ノートに内容をまとめたりする際に常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。語句の説明や引用の仕方、それらの必要性について理解を深め使うことができる。 【思考・判断・表現】 評論文という文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 教材の内容に関心を持っている。発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○			○	○	1

合計	78
----	----

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教 科： 国語 科 目： 言語文化 単位数： 3 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）

使用教科書：（ 言語文化 （筑摩書房） ）

教科 国語 の目標：

【知 識 及 び 技 能】実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高める。

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能、及び古典的な知識等を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深める。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深める。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら言葉がもつ価値への認識を深める。古典に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもつ。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	「言葉の力」「字治拾遺物語」「漢文入門」 【知識及び技能】 言葉の持つ、文化の継承、発展、創造の働きを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、叙述を基に内容や構成、展開を的確に捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 長く読み継がれてきた文学と、そこで表現されることばの持つ価値を考えさせ、ことばとの向き合い方、及び生活や文化の違いなどにも目を向けさせ、古典の世界に興味を持つようにさせる。	・指導事項 古文と現代文の違いを理解し、古文を読むための基礎を学ぶ。また、漢語の成り立ちを理解し、返り点や送り仮名の基本的な使い方を理解する。 ・教材 新国語総合ガイド・体系古典文法・体系古典文法学習ノート・必携新明説漢文・必携新明説漢文ノート・古文単語330・プログレス古典総演習基本編 ・一人1台端末の活用 等 Classi Note他	○	○	○	【知識・技能】 「言葉の力」を読んで、言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。古典の世界に親しむために、説話の歴史的・文化的背景などを理解している。漢文句法を踏まえ、漢文の構成などについての確に捉えている。 【思考・判断・表現】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開について叙述を基に的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 教材の内容に関心と親しみをもち、今後の学習に見通しをもって取り組んでいる。	○	○	○	9
	「竹取物語」「近代語の成立」 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 物語に表れた心情を読み取らせる。時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉のつながりについて理解させる。	・指導事項 助動詞・係り結びの法則や敬語について理解する。物語に描かれた平安時代の人々の生活や、ものの見方・感じ方を理解する。 ・教材 新国語総合ガイド・体系古典文法・体系古典文法学習ノート・必携新明説漢文・必携新明説漢文ノート・古文単語330・プログレス古典総演習基本編 ・一人1台端末の活用 等 Classi Note他	○	○	○	【知識・技能】 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。古典の世界に親しむために、歴史的・文化的背景、文語の決まり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考・判断・表現】 物語作品の構成や展開、表現の仕方や特色について叙述を基に的確に捉えている。 近代語の成立の学習を通して、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 【主体的に学習に取り組む態度】 教材に関心を持ち、今後の学習に見通しをもって取り組んでいる。我が国の言語文化に興味・関心を深め、積極的に継承していくことへの自覚をもとうとしている。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		○	○		1
	「伊勢物語」「土佐日記」 【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の意味を文脈の中で形成されることを理解させる。物語に描かれた平安時代の人々の生活や、ものの見方・感じ方を理解させる。	・指導事項 助動詞・係り結びの法則・接続助詞「は」の用法について理解する。日記や物語の内容を把握し、和歌に託された人物の心情を読み取る。 ・教材 新国語総合ガイド・体系古典文法・体系古典文法学習ノート・必携新明説漢文・必携新明説漢文ノート・古文単語330・プログレス古典総演習基本編 ・一人1台端末の活用 等 Classi Note他	○	○	○	【知識・技能】 和歌が、登場人物の心情を伝える上でどのような効果を与えているか理解している。物語や日記に描かれた平安時代の人々の生活やものの見方・感じ方を理解している。 【思考・判断・表現】 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。描かれた経験とそれを書き記す視点に注目して、背景を理解しつつ作品を解釈できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 教材の内容に関心を持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。	○	○	○	10
	「更級日記」「故事成語」「羅生門」 【知識及び技能】 背景を考えながら作品の視点を解釈させる。故事成語を通して漢語の特色を理解させ、ことばについての見方、考え方を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 人々の心を捉える表現や、構成の工夫、叙述から導き出される登場人物の心情などを読み取らせる。 【学びに向かう力、人間性等】 日記作品の学習を通して、自分の経験を書くことは、経験をした自分と、それを見つめる今の自分という、複数の自分がそこにいることを意識させ、作品理解につなげていく。 定期考査	・指導事項 助詞について理解する。日記の内容を把握し、作者の心情を理解する。漢文訓読について理解する。「句法のまとめ」に挙げられた句法について理解する。周到に計算された描写や比喩などの表現技巧を整理し、その効果と小説世界の有機的な構造を考える。 ・教材 新国語総合ガイド・体系古典文法・体系古典文法学習ノート・必携新明説漢文・必携新明説漢文ノート・古文単語330・プログレス古典総演習基本編 ・一人1台端末の活用 等 Classi Note他	○	○	○	【知識・技能】 「更級日記」の歴史的・文化的背景を理解している。必要な文語の決まり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考・判断・表現】 故事成語の出典を調べることで、言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増やし、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 教材の内容に関心と親しみをもち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		○	○		1

2 学 期	「徒然草」「十八史略」 【知識及び技能】 時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 日本の文化に影響を与えた文章や、時には批判的な立場からの意見も併せて読むことで、筆者のものの見方、考え方をより深く理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 史伝に書かれたことばや行動を様々な視点から解釈し、描かれた人間の姿を多角的に読み取らせる。	・指導事項 助詞・まぎらわしい語の区別・形容詞の音便について理解する。 内容を把握し、作者の心情を理解する。当時の中国の人々の生活や、ものの見方・感じ方を理解する。 中国の歴史・文化について理解する。 ・教材 新国語総合ガイド・体系古典文法・体系古典文法学習ノート・必携新明説漢文・必携新明説漢文ノート・古文単語330・プログレス古典総演習基本編 ・一人1台端末の活用 等 Classi Note他			【知識・技能】 作品を通して、言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 古典を読むために必要な文語の決まり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考・判断・表現】 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 【主体的に学習に取り組む態度】 教材の内容に関心と親しみをもち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。				12	
	「方丈記」「待ち伏せ」 【知識及び技能】 表現・文体の特徴を内容と関連づけながら理解し、時代の転換期を生きた作者の思想を読み取らせる。 【思考力、判断力、表現力等】 我が国の言語文化の特徴や、我が国の文化と外国の文化との関係について理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 随筆に描かれた鎌倉時代の人々の生活や、ものの見方・感じ方を理解させる。 古典作品と小説を読み比べて、表現の違いについて考えさせる。	・指導事項 助詞について理解する。日記の内容を把握し、作者の心情を理解する。 漢文訓読について理解する。「句法のまとめ」に挙げられた句法について理解する。 周到に計算された描写や比喩などの表現技巧を整理し、その効果と小説世界の有機的な構造を考える。 ・教材 新国語総合ガイド・体系古典文法・体系古典文法学習ノート・必携新明説漢文・必携新明説漢文ノート・古文単語330・プログレス古典総演習基本編 ・一人1台端末の活用 等 Classi Note他			【知識・技能】 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈できる。文章を手掛かりにして、作者の思いを読み取ることができる。 【思考・判断・表現】 内容や構成、展開などについて、叙述を基に的確に捉えることができる。作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 教材の内容に関心と親しみをもち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを積極的に継承していくことについて自覚をもとうとしている。				12	
	定期考査			○	○			○	○	1
2 学 期	「平家物語」「唐詩」 【知識及び技能】 和漢混濁文という文体の独特なリズムや特徴的な表現が、戦の緊迫した描写にどのような印象をもたらすか考えさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 貴族の衰退と武家の興隆という歴史の転換期の中に描かれた「軍記」を通して、古典表現に対するものの見方、考え方の幅を広げる。 【学びに向かう力、人間性等】 登場人物たちが、いかなる心情や判断に基づき行動を選び取ったかを読み解く。 定型の文芸である漢詩の表現を通して、心情を伝える表現の幅を広げる。	・指導事項 音便・敬語法・対句表現について理解する。語りの文体としての軍記物語や、それぞれの唐詩を声に出して味わう。 唐詩の種類・修辞や、その役割について理解し、さまざまな詩人についての理解を深める。「句法のまとめ」に挙げられた句法について理解する。 ・教材 新国語総合ガイド・体系古典文法・体系古典文法学習ノート・必携新明説漢文・必携新明説漢文ノート・古文単語330・プログレス古典総演習基本編 ・一人1台端末の活用 等 Classi Note他			【知識・技能】 言葉には文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。「平家物語」や琵琶法師の語りの歴史的・文化的背景などを理解している。古典をよむために必要な文語の決まり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考・判断・表現】 和漢混交文など歴史的な文体の変化について理解を深めている。 唐詩を通して、言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。唐詩の歴史的・文化的背景などを理解している。漢詩をよむために必要な訓読のきまりや古典特有の表現などについて理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 教材の内容に関心と親しみをもち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。				13	
	「万葉集」「失われた両腕」 【知識及び技能】 枕詞や序詞などの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 韻文の表現から、ことばへの理解を深めるとともに、作者たちの思いをくみ取る。 研ぎ澄まされた表現に触れ、ものの見方・感じ方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 定型という制約された枠組みの中から、相手に対する思いをどのように伝えてきたかを学び、ことばへの感性や語彙を豊かにする。 自分の思いを表現する筆者のことばの豊かさや想像力に注目する。	・指導事項 和歌の修辞やその役割について理解する。さまざまな歌人についての理解を深める。 一種の美術評論であるが、筆者の感動がこの文章の根底にあることを読み取る。倒置や逆説による文の構成や言い換えの表現が実際には一つのことであることを理解する。 ・教材 新国語総合ガイド・体系古典文法・体系古典文法学習ノート・必携新明説漢文・必携新明説漢文ノート・古文単語330・プログレス古典総演習基本編 ・一人1台端末の活用 等 Classi Note他			【知識・技能】 和歌を通して、言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。枕詞や序詞などの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。和歌の歴史的・文化的背景などを理解している。和歌の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について理解している。 和歌の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 【思考・判断・表現】 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 随想という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 教材の内容に関心と親しみをもち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。				13	
	定期考査				○	○			○	○

[illegible]

高等学校 令和7年度（1学年用）教科

地理歴史

科目 地理総合

教科：地理歴史

科目：地理総合

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）

使用教科書：新地理総合(帝国書院)、新詳高等地図(帝国書院)

教科 地理歴史

の目標：

現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な【知識及び技能】情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に着ける。

地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察【思考力、判断力、表現力等】したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会を実現するための課題を主体的に解決しようとする態度を養う。日本や他国の文化を尊重することの大切さを自覚し、深める。

科目 地理総合

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組み等を理解するとともに、地図やGISなどを用いて、調査や地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に着ける。	地理的事象の意味や意義、特色や相互の関連を、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して日本や世界の多様な生活文化を尊重することの大切さを涵養する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	地図と地理情報システム 【知識及び技能】 地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	指導事項 ・地球上の位置と時差 ・地図の役割と種類 教材 ・教科書、地図帳、資料集 ・iPadを用いたGIS等の活用	【知識・技能】 日常生活の中でみられるさまざまな地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解している。 現代世界のさまざまな地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	6
	結び付きを深める現代世界 【知識及び技能】 さまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 現代世界の地域構成について、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	指導事項 ・現代世界の国家と領域 ・グローバル化する世界 教材 ・教科書、地図帳、資料集 ・iPadを用いたGIS等の活用	【知識・技能】 現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きについて理解している。 【思考・判断・表現】 現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	8
	定期考查			○	○		1
	生活文化の多様性と国際理解（前編） 【知識及び技能】 生活文化が、地理的環境によって多様性を持つこと、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。 世界の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 生活文化について、特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	指導事項 ・世界の地形と人々の生活 ・世界の気候と人々の生活 ・世界の言語、宗教と人々の生活 教材 ・教科書、地図帳、資料集 ・iPadを用いたGIS等の活用	【知識・技能】 世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。 【思考・判断・表現】 世界の人々の生活文化について、その生活文化がみられる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	10
	定期考查			○	○		1

2 学 期	生活文化の多様性と国際理解（後半） 【知識及び技能】 生活文化が、地理的環境によって多様性を持つこと、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。 世界の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 生活文化について、特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	指導事項 ・歴史的背景と人々の生活 ・世界の産業と人々の生活 教材 ・教科書、地図帳、資料集 ・iPadを用いたGIS等の活用	【知識・技能】 世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。 【思考・判断・表現】 世界の人々の生活文化について、その生活文化がみられる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	9
	地球的課題と国際協力 【知識及び技能】 地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解する。 地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	指導事項 ・地球環境問題 ・資源、エネルギー問題 ・人口問題 教材 ・教科書、地図帳、資料集 ・iPadを用いたGIS等の活用	【知識・技能】 世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解している。 世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解している。 【思考・判断・表現】 世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	地球的課題と国際協力 【知識及び技能】 地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解する。 地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	指導事項 ・食料問題 ・都市居住問題 教材 ・教科書、地図帳、資料集 ・iPadを用いたGIS等の活用	【知識・技能】 世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解している。 世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解している。 【思考・判断・表現】 世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1

3 学 期	自然環境と防災 【知識及び技能】 地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わり、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解する。 さまざまな自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集、読み取り、まとめる地理的技能を身に付ける。 【思考力・判断力・表現力等】 地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	指導事項 ・日本の自然環境 ・地震、津波と防災 ・火山災害と防災 ・気象災害と防災 ・自然災害への備え	【知識・技能】 我が国をはじめ世界でみられる自然災害や生徒の生活圏でみられる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解している。 さまざまな自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的技能を身に付けている。 【思考力・判断力・表現力等】 地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	12
	生活圏の調査と地域の展望 【知識及び技能】 生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 生活圏の地理的な課題について、地域の成り立ちや変容、他地域との結びつき、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 生活圏の調査と地域の展望について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	指導事項 ・地理的な課題と地域調査 教材 ・教科書、地図帳、資料集 ・iPadを用いたGIS等の活用	【知識・技能】 生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 生活圏の地理的な課題について、生活圏内や生活圏外との結び付き、地域の成り立ちや変容、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 生活圏の調査と地域の展望について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
							78

高等学校 令和7年度（1 学年用）教科 地理歴史 科目 歴史総合

教科： 地理歴史 科目： 歴史総合 単位数： 2 単位
対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組
教科担当者：（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）
使用教科書： 明解 歴史総合（帝国書院）
教科 地理歴史 の目標：

- 【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会を実現するための課題を主体的に解決しようとする態度を養う。日本や他国の文化を尊重することの大切さを自覚し、深める。

科目 歴史総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
グローバル化や情報化、少子高齢化など急激に変化する現代社会に至る歴史的過程を理解し、平和で民主的な国家及び社会を形成するために必要な資質・能力を身につける。	現代世界の諸課題が形成された歴史的経緯について理解を深め、歴史的な見方・考え方を働かせて多面的・多角的に考察する力を習得する。	歴史に関わる課題について、資料を活用して自分の問いを表現し、現代とのつながりを意識しながら考察するとともに、課題に対応した知識を習得したり、歴史的な見方・考え方を働かせながら学習内容を説明する力を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	2 部 近代化と私たち 序章 近代化への問い 【知識及び技能】近代化に関わる史資料を読み解く技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】資料から得た情報と、中学校までの学習で得た知識を統合し、近代化を読み解く問いを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】中学校までの学習を踏まえて、見通しをもって学習に取り組もうとし、問いを繰り返して洗練させていくなど、粘り強く取り組もうとする。	指導事項：「近代化」について考察していこう！ 教材 ・教科書、プリント ・iPadを用いた検索機能等の活用	【知識・技能】近代化に関わる史資料を読み解く技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】資料から得た情報と、中学校までの学習で得た知識を統合し、近代化を読み解く問いを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】中学校までの学習を踏まえて、見通しをもって学習に取り組もうとし、問いを繰り返して洗練させていくなど、粘り強く取り組もうとしている。	○	○	○	4
	1 章 江戸時代の日本と結び付く世界 【知識及び技能】18世紀のアジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易と、日本への影響について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】「大航海時代」から「世界の一体化」へ至る交易の意義と地域の変容について考察し、自分の言葉で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】18世紀の交易と現代の貿易との違いについて考察し、その変化の要因を追究しようとする。	指導事項：18世紀の日本やアジア、ヨーロッパは、それぞれのようにつながっていたのだろうか。 教材 ・教科書、プリント ・iPadを用いた検索機能等の活用	【知識・技能】18世紀のアジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易と、日本への影響について理解している。 【思考・判断・表現】「大航海時代」から「世界の一体化」へ至る交易の意義と地域の変容について考察し、自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】18世紀の交易と現代の貿易との違いについて考察し、その変化の要因を追究しようとしている。	○	○	○	7
	定期考查			○	○		1
	2 章 欧米諸国における近代化 【知識及び技能】市民社会と国民国家の形成、資本主義社会と国際分業体制確立の経緯を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】市民革命および産業革命の経緯などから、諸改革の意義と現在社会との関わりを考察し、自分の言葉で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】市民革命や産業革命が現代社会に与えた課題について、解決策を追究しようとする。	指導事項：欧米で起こった市民革命・産業革命により、社会はどのように変化したのだろうか。 教材 ・教科書、プリント ・iPadを用いた検索機能等の活用	【知識・技能】市民社会と国民国家の形成、資本主義社会と国際分業体制確立の経緯を理解している。 【思考・判断・表現】市民革命および産業革命の経緯などから、諸改革の意義と現在社会との関わりを考察し、自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】市民革命や産業革命が現代社会に与えた課題について、解決策を追究しようとしている。	○	○	○	7

1 学 期	3章 近代化の進展と国民国家形成 【知識及び技能】国民国家の展開と帝国主義による世界分割や移民の状況を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】国民国家の形成・発展による対外戦争や差別・抑圧、帝国主義が人類に与えた変化について考察し、自分の言葉で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】国民国家や帝国主義政策が現代社会に与えた影響について、追究しようとする。	指導事項：近代化が進むなかで、欧米諸国はどのような国家を形成していったのだろうか。 教材 ・教科書、プリント ・iPadを用いた検索機能等の活用	【知識・技能】国民国家の展開と帝国主義による世界分割や移民の状況を理解している。 【思考・判断・表現】国民国家の形成・発展による対外戦争や差別・抑圧、帝国主義が人類に与えた変化について考察し、自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】国民国家や帝国主義政策が現代社会に与えた影響について、追究しようとしている。	○	○	○	6
	定期考查			○	○		1
2 学 期	4章 アジア諸国の動揺と日本の開国 【知識及び技能】欧米諸国の進出によるアジア諸国の変容について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】アジア諸国の変容を比較したり関連付けたりして考察し、「西洋の衝撃」の歴史的意義について自分の言葉で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】欧米諸国の進出とアジア諸国の変容が現代社会にどのような課題を生み出したかについて考察し、追究する。	指導事項：近代化した欧米諸国の進出に、アジア諸国や日本はどのように対応したのだろうか。 教材 ・教科書、プリント ・iPadを用いた検索機能等の活用	【知識・技能】欧米諸国の進出によるアジア諸国の変容について理解している。 【思考・判断・表現】アジア諸国の変容を比較したり関連付けたりして考察し、「西洋の衝撃」の歴史的意義について自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】欧米諸国の進出とアジア諸国の変容が現代社会にどのような課題を生み出したかについて考察し、追究しようとしている。	○	○	○	6
	5章 近代化が進む日本と東アジア 【知識及び技能】明治維新とその後の日本の変化やアジア諸国の変容について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】明治維新の歴史的意義について、現代の日本への影響と関連付けて考察し、自分の言葉で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】明治維新やアジア諸国の変容が、現代社会にどのような課題を与えたかについて考察し、解決策を追究しようとする。	指導事項：日本や東アジア諸国は、近代化を通じてどのように変化していったのだろうか。 教材 ・教科書、プリント ・iPadを用いた検索機能等の活用	【知識・技能】明治維新とその後の日本の変化やアジア諸国の変容について理解している。 【思考・判断・表現】明治維新の歴史的意義について、現代の日本への影響と関連付けて考察し、自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】明治維新やアジア諸国の変容が、現代社会にどのような課題を与えたかについて考察し、解決策を追究しようとしている。	○	○	○	8
	定期考查			○	○		1
	3部 国際秩序の変化や大衆化と私たち 序章 国際秩序の変化や大衆化への問い 【知識及び技能】国際秩序の変化や大衆化に関わる史資料を読み解く技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】資料から得た情報と、中学校までの学習で得た知識を統合し、国際秩序の変化や大衆化を読み解く問いを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】中学校までの学習を踏まえて、見通しをもって学習に取り組もうとし、問いを繰り返し洗練させていくなど、粘り強く取り組もうとする。	指導事項：「国際秩序の変化や大衆化」について考察していこう！ 教材 ・教科書、プリント ・iPadを用いた検索機能等の活用	【知識・技能】国際秩序の変化や大衆化に関わる史資料を読み解く技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】資料から得た情報と、中学校までの学習で得た知識を統合し、国際秩序の変化や大衆化を読み解く問いを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】中学校までの学習を踏まえて、見通しをもって学習に取り組もうとし、問いを繰り返し洗練させていくなど、粘り強く取り組もうとしている。	○	○	○	8

2 学 期	1章 第一次世界大戦と日本の対応 【知識及び技能】国際関係の視点を軸に、第一次世界大戦勃発から終戦までの経緯と、参戦各国の社会の変化について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】第一次世界大戦の総力戦体制下において、列強の戦闘員・列強の非戦闘員・植民地や従属地域の人々がそれぞれどのような目的で戦争に協力したのかを考察し、自分の言葉で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】勢力均衡に基づく国際秩序と大衆の戦争参加が、現在の社会につながるどのような課題を生み出したのかについて考察し、解決策について追究しようとする。	指導事項：第一次世界大戦は、日本を含む世界の人々にとってどのような戦争になったのだろうか。 教材 ・教科書、プリント ・iPadを用いた検索機能等の活用	【知識・技能】国際関係の視点を軸に、第一次世界大戦勃発から終戦までの経緯と、参戦各国の社会の変化について理解している。 【思考・判断・表現】第一次世界大戦の総力戦体制下において、列強の戦闘員・列強の非戦闘員・植民地や従属地域の人々がそれぞれどのような目的で戦争に協力したのかを考察し、自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】勢力均衡に基づく国際秩序と大衆の戦争参加が、現在の社会につながるどのような課題を生み出したのかについて考察し、解決策について追究しようとしている。	○	○	○	8	
	定期考査			○	○		1	
3 学 期	2章 国際協調と大衆社会の広がり 【知識及び技能】ヴェルサイユ体制によって形成された国際秩序と、国際社会や各国に生じた政治・社会・文化の変化を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】新しい国際秩序と大衆社会の特徴について考察し、自分の言葉で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】ヴェルサイユ体制に基づく国際秩序の成立と、20世紀前半における大衆社会の到来が、現代社会においてどのような課題を生み出したのかを考察し、その解決策について追究しようとする。	指導事項：欧米や日本など、世界各地に広まった大衆化とは、どのようなものだったのだろうか。 教材 ・教科書、プリント ・iPadを用いた検索機能等の活用	【知識・技能】ヴェルサイユ体制によって形成された国際秩序と、国際社会や各国に生じた政治・社会・文化の変化を理解している。 【思考・判断・表現】新しい国際秩序と大衆社会の特徴について考察し、自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】ヴェルサイユ体制に基づく国際秩序の成立と、20世紀前半における大衆社会の到来が、現代社会においてどのような課題を生み出したのかを考察し、その解決策について追究しようとしている。	○	○	○	9	
	3章 日本の行方と第二次世界大戦 【知識及び技能】世界恐慌から第二次世界大戦の終戦に至るまでの経緯について、大衆とマスメディアの関わりに着目しながら理解する。 【思考力、判断力、表現力等】ファシズム体制の形成から終戦に至るまで、ドイツや日本で大衆がなぜ戦争に協力していったのかを考察し、自分の言葉で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】大衆の戦争への加担という問題を現代社会における課題としてとらえ、その解決策を追究しようとする。	指導事項：大衆は、どのようにして戦争を導いてしまったのだろうか。 教材 ・教科書、プリント ・iPadを用いた検索機能等の活用	【知識・技能】世界恐慌から第二次世界大戦の終戦に至るまでの経緯について、大衆とマスメディアの関わりに着目しながら理解している。 【思考・判断・表現】ファシズム体制の形成から終戦に至るまで、ドイツや日本で大衆がなぜ戦争に協力していったのかを考察し、自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】大衆の戦争への加担という問題を現代社会における課題としてとらえ、その解決策を追究しようとしている。	○	○	○	10	
	定期考査			○	○		1	
							合計	78

高等学校 令和7年度（1学年用）教科 数学 科目 数学Ⅰ・Ⅱ

教科： 数学 科目： 数学Ⅰ・Ⅱ 単位数： 3・1 単位
対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組
教科担当者：（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）
使用教科書：（ 数学Ⅰ（数研出版）・数学Ⅱ（数研出版） ）
教科 数学 の目標： 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、
数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

【知識及び技能】	基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、論理的に考察し表現する力、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学Ⅰ・Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、2次関数、データの分析、いろいろな式及び図形と方程式についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的に見たり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。数の範囲や式の性質に着目し、等式・不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形の関係について方程式を用いて的確に表現したり、考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	数と式 【知識及び技能】 式の展開、因数分解などの公式を利用する。 絶対値、平方根、不等式の意味とその性質を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 式の形の特徴に着目して変形や整理をし、公式が適用できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 式の変形、整理などの工夫において、よりよい方法を考察する。 今まで学習してきた数の体系について整理し、考察する。	・指導事項 式の展開、因数分解 絶対値、平方根、不等式 ・教材 サクシード（数研出版） ・一人1台端末の活用 等 Classi Note他	【知識・技能】 展開、因数分解などの公式を利用できる。 絶対値、平方根、不等式の意味とその性質を理解している。 【思考・判断・表現】 式の形の特徴に着目して変形や整理をし、公式が適用できるようにすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 式の変形、整理などの工夫において、よりよい方法を考察しようとする。 今まで学習してきた数の体系について整理し、考察しようとする。	○	○	○	16
	集合と命題 【知識及び技能】 集合、命題、必要条件・十分条件、逆・裏・対偶について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 集合の要素を捉える。 命題の真偽を考察する。 対偶や背理法を利用する。 【学びに向かう力、人間性等】 集合の関係について表現方法を考察しようとする。 命題について考察しようとする。	・指導事項 集合、命題、証明 ・教材 サクシード（数研出版） ・一人1台端末の活用 等 Classi Note他	【知識・技能】 集合とその表し方を理解している。 命題の真偽、反例の意味を理解している。 必要条件、十分条件の定義を理解している。 命題の逆・裏・対偶を理解している。 【思考・判断・表現】 条件で集合の要素を捉えることができる。 命題の真偽を集合に結び付けて考察できる。 対偶や背理法を利用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 集合の関係の表現方法を考察しようとする。 命題について調べようとする態度がある。 逆・裏・対偶の関係を考察しようとする。	○	○	○	9

1 学 期	定期考査			○	○	○	1
	2次関数 2次関数とグラフ 2次方程式 【知識及び技能】 平方完成を利用して2次関数のグラフをかく。 2次関数の最大値、最小値を求める。 2次方程式を解く。 判別式を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 2次関数の特徴を多面的に考察する。 2次関数の値の変化をグラフから考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 具体的な事象の考察に2次関数を活用する。	・指導事項 2次関数、2次方程式 ・教材 サクシード（数研出版） ・一人1台端末の活用 等 Classi Note他	【知識・技能】 平方完成を利用して2次関数のグラフの軸と頂点を調べ、グラフをかくことができる。 2次関数の最大値、最小値を求めることができる。 2次方程式を解くことができる。 判別式の符号と実数解の関係を理解している。 【思考・判断・表現】 2次関数の特徴を多面的に考察できる。 2次関数の値の変化をグラフから考察できる。 具体的な事象の最大・最小を処理できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 放物線の性質に興味・関心を示し、自ら調べようとする。 具体的な事象の考察に2次関数を活用しようとする。	○	○	○	25
	定期考査			○	○	○	1
2 学 期	2次関数 2次不等式 【知識及び技能】 2次不等式や2次不等式を含む連立不等式を解く。 【思考力、判断力、表現力等】 2次関数の値の符号と関連付けて2次不等式を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な問題を2次不等式で解決しようとする。	・指導事項 2次関数、2次不等式 ・教材 サクシード（数研出版） ・一人1台端末の活用 等 Classi Note他	【知識・技能】 2次不等式を解くことができる。 2次の連立不等式を解くことができる。 2次不等式を利用する応用問題を解くことができる。 【思考・判断・表現】 2次関数の値の符号と2次不等式の解を相互に関連させて考察することができる。 2次式が一定の符号をとるための条件をグラフと関連させて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 身近な問題を2次不等式で解決しようとする。	○	○	○	16
	図形と計量 三角比 【知識及び技能】 直角三角形において、正弦、余弦、正接が求まる。 直角三角形を利用して測量などの応用問題を解く。 鈍角の三角比を求める。 【思考力、判断力、表現力等】 三角比表の値の意味を考察し、具体的な事象を三角比の問題としてとらえる。 鋭角の三角比を、鈍角の場合に拡張して考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 日常の事象や社会の事象などに三角比を活用する。 三角比の相互関係を調べる。 三角比を鋭角から鈍角へ拡張して考察する。	・指導事項 三角比 ・教材 サクシード（数研出版） ・一人1台端末の活用 等 Classi Note他	【知識・技能】 直角三角形において、正弦、余弦、正接が求められる。 直角三角形を利用して測量などの応用問題を解くことができる。 鈍角の三角比を求めることができる。 【思考・判断・表現】 三角比表の値の意味を考察し、具体的な事象を三角比の問題としてとらえることができる。 鋭角の三角比を、鈍角の場合に拡張して考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 日常の事象や社会の事象などに三角比を活用しようとする。 三角比の相互関係を調べようとする。 三角比を鋭角から鈍角へ拡張して考察しようとする。	○	○	○	17
	定期考査			○	○	○	1
	B 図形と計量 三角形への応用 【知識及び技能】 正弦定理、余弦定理を用いて辺の長さや角の大きさを求める。 三角比を測量に応用する。 【思考力、判断力、表現力等】 正弦定理、余弦定理を導く。 空間図形において、三角形に着目して考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 正弦定理、余弦定理を活用して三角形について解く。 日常の事象や社会の事象に三角比を活用する。	・指導事項 三角形への応用 ・教材 サクシード（数研出版） ・一人1台端末の活用 等 Classi Note他	【知識・技能】 正弦定理の関係式を適切に処理できる。 余弦定理を用いて辺の長さや角の大きさが求められる。 三角比を用いて三角形の面積を求められる。 三角比を測量に応用できる。 【思考・判断・表現】 正弦定理、余弦定理を導くことができる。 三角比と三角形の関係を考察することができる。 空間図形において、三角形に着目して考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 正弦定理、余弦定理を導こうとする。 正弦定理、余弦定理を活用して三角形について解こうとする。 日常の事象や社会の事象に三角比を活用しようとする。	○	○	○	16

2 学 期	B データの分析 【知識及び技能】 度数分布表、ヒストグラムについて理解する。 平均値や中央値、最頻値の定義や意味を理解し、それらを求める。 範囲、箱ひげ図、偏差、分散などの意味を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 データの散らばりや外れ値を考察する。 変量の変換による変化を考察し、見通しよく計算する。 【学びに向かう力、人間性等】 データを整理して全体の傾向を考察する。 データの代表値や散らばりの度合いを調べ、考察する。	・指導事項 データの分析 ・教材 サクシード（数研出版） ・一人1台端末の活用 等 Classi Note他	【知識・技能】 度数分布表、ヒストグラムについて理解している。 平均値や中央値、最頻値の定義や意味を理解し、それらを求めることができる。 範囲、箱ひげ図、偏差、分散などの意味を理解している。 【思考・判断・表現】 データの散らばりや外れ値を考察することができる。 変量の変換による変化を考察し、見通しよく計算することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 データを整理して全体の傾向を考察しようとする。 データの代表値や散らばりの度合いを調べ、考察しようとする。	○	○	○	13
	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	式と証明 【知識及び技能】 3次式の展開、因数分解の公式を利用する。 二項定理の導き方を理解し、展開式の係数を求める。 多項式の割り算を理解する。 恒等式の性質を理解し、係数を決定する。 等式・不等式を証明する。 【思考力、判断力、表現力等】 展開公式、因数分解の公式を導く。 二項定理を等式の証明に活用する。 多項式の割り算の結果を等式で表して考察する。 恒等式について考察する。 条件を考察し、等式・不等式の証明する。 【学びに向かう力、人間性等】 3次式の展開、因数分解の公式を理解し、適用する。 二項定理の導き方を理解し、興味をもって調べる。 多項式の割り算に興味をもち、具体的な問題に取り組もうとする。 恒等式について、係数比較法と数値代入法とを比較して考察する。 等式・不等式の証明を通して、数学の論証に興味・関心をもつ。	・指導事項 3次式の展開、因数分解、二項定理、多項式の割り算、恒等式、等式・不等式の証明 ・教材 サクシード（数研出版） ・一人1台端末の活用 等 Classi Note他	【知識・技能】 3次式の展開、因数分解の公式を利用できる。 二項定理の導き方を理解し、展開式の係数を求めることができる。 多項式の割り算を理解している。 恒等式の性質を理解し、係数を決定することができる。 等式・不等式を証明することができる。 【思考・判断・表現】 展開公式、因数分解の公式を導くことができる。 二項定理を等式の証明に活用することができる。 多項式の割り算の結果を等式で表して考察することができる。 恒等式の性質を理解し、係数を決定することができる。 条件を考察し、等式・不等式の証明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 3次式の展開、因数分解の公式を理解し、適用しようとする。 二項定理の導き方を理解し、興味をもって調べようとする。 多項式の割り算に興味をもち、具体的な問題に取り組もうとする。 恒等式について、係数比較法と数値代入法とを比較して考察しようとする。 等式・不等式の証明を通して、数学の論証に興味・関心をもつ。	○	○	○	13
	複素数と方程式 【知識及び技能】 複素数の定義を理解している。 判別式、解の公式、解と係数の関係を理解して、活用する。 剰余の定理を利用する。 高次方程式を解く。 【思考力、判断力、表現力等】 数の範囲を拡張する必要性を理解し、複素数を考察する。 判別式、解の公式、解と係数の関係を利用して考察する。 剰余の定理、高次方程式を理解し、活用する。 【学びに向かう力、人間性等】 方程式が常に解をもつように考えられた複素数に興味・関心を示し、考察する。 2次方程式の種々の問題を解の公式や解と係数の関係を利用して考察する。 3次方程式の解と係数の関係に興味・関心を示し、考察する。	・指導事項 複素数、2次方程式、剰余の定理、高次方程式 ・教材 サクシード（数研出版） ・一人1台端末の活用 等 Classi Note他	【知識・技能】 複素数の定義を理解している。 判別式、解の公式、解と係数の関係を理解して、活用できる。 剰余の定理を利用できる。 高次方程式を解くことができる。 等式・不等式を証明することができる。 【思考・判断・表現】 数の範囲を拡張する必要性を理解し、複素数を考察することができる。 判別式、解の公式、解と係数の関係を利用して考察することができる。 剰余の定理、高次方程式を理解し、活用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 方程式が常に解をもつように考えられた複素数に興味・関心を示し、考察しようとする。 2次方程式の種々の問題を解の公式や解と係数の関係を利用して考察しようとする。 3次方程式の解と係数の関係に興味・関心を示し、考察しようとする。	○	○	○	13

3 学 期	図形と方程式 【知識及び技能】 2点間の距離、内分点、外分点の座標を求める。 直線の平行条件、垂直条件を理解し、それを利用する。 点と直線の距離の公式を理解し、それを利用する。 円の方程式の求め方を理解する。 円と直線の共有点の座標を求める。 円の接線の公式を理解して、それを利用する。 【思考力、判断力、表現力等】 座標を適切に設定して図形の性質を証明する。 2直線の位置関係を考察する。 円と直線の位置関係を考察する。 2つの円の位置関係を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 点に関する公式を利用して平面上の問題を考察する。 公式を利用して、直線の方程式を求める。 2直線の平行・垂直の関係を考察する。	・指導事項 点と直線、直線の方程式、円の方程式 ・教材 サクシード（数研出版） ・一人1台端末の活用 等 Classi Note他	【知識・技能】 2点間の距離、内分点、外分点の座標が求められる。 直線の平行条件、垂直条件を理解し、それを利用できる。 点と直線の距離の公式を理解し、それを利用できる。 円の方程式の求め方を理解している。 円と直線の共有点の座標を求めることができる。 円の接線の公式を理解して、それを利用できる。 【思考・判断・表現】 座標を適切に設定して図形の性質を証明することができる。 2直線の位置関係を考察することができる。 円と直線の位置関係を考察することができる。 2つの円の位置関係を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 点に関する公式を利用して平面上の問題を考察しようとする。 公式を利用して、直線の方程式を求めようとする。 2直線の平行・垂直の関係を考察しようとする。 与えられた方程式が表す図形に興味・関心をもつ。 円と直線の位置関係を調べようとする。	○	○	○	13
	定期考査			○	○	○	1
							合計
							156

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 数学 科目 数学A

教科： 数学 科目： 数学A 単位数： 2 単位
対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組
教科担当者：（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）
使用教科書：（ 数学A（数研出版） ）
教科 数学 の目標： 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、
数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、論理的に考察し表現する力、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学A の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見いだし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見いだし、数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	場合の数と確率 場合の数 【知識及び技能】 具体的な事象に対して集合の考え方で人数を求める。 順列の用語、記号、公式を理解し利用する。 円順列、重複順列の並べ方の総数を求める。 組合わせの用語、記号、公式を理解し利用する。 同じものを含む順列の総数を求める。 【思考力、判断力、表現力等】 集合の要素の個数を考察する。 特殊な条件が付く順列を処理する。 円順列、重複順列を考察する。 特殊な条件が付く組合せを処理する。 同じものを含む順列を組合せで考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 日常的な事柄などを集合の考え方で数学的に数える。 樹形図などを利用して数える。 和の法則・積の法則から順列の総数を導く。 順列、円順列、重複順列に興味・関心をもつ。 順列と組合せの違いに興味・関心をもつ。	・指導事項 集合、場合の数、順列、組合せ ・教材 サクシード（数研出版） ・一人1台端末の活用 等 Classi Note他	【知識・技能】 具体的な事象に対して集合の考え方で人数を求めることができる。 順列の用語、記号、公式を理解し利用できる。 円順列、重複順列の並べ方の総数を求めることができる。 組合わせの用語、記号、公式を理解し利用できる。 同じものを含む順列の総数を求めることができる。 【思考・判断・表現】 集合の要素の個数を考察することができる。 特殊な条件が付く順列を処理することができる。 円順列、重複順列を考察することができる。 特殊な条件が付く組合せを処理することができる。 同じものを含む順列を組合せで考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 日常的な事柄などを集合の考え方で数学的に数えようとする。 樹形図などを利用して数えようとする。 和の法則・積の法則から順列の総数を導こうとする。 順列、円順列、重複順列に興味・関心をもつ。 順列と組合せの違いに興味・関心をもつ。	○	○	○	12
	定期考査			○	○	○	1

2 学 期	場合の数と確率 確率 【知識及び技能】 確率の意味、試行や事象の定義を理解する。 積事象、和事象の定義を理解して確率を求める。 複雑な事象の確率を求める。 独立な試行の確率を求める。 【思考力、判断力、表現力等】 不確定な事象を、同様に確からしいという概念をもとに数量的に捉える。 確率の性質を考察する。 独立な試行の確率を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 統計的確率と数学的確率の違いに興味・関心をもつ。 複雑な事象の確率を意欲的に求める。 身近な事柄に確率の考え方を活用して考察する。 独立な試行の確率について、興味をもって調べる。	・指導事項 事象と確率、確率の基本性質、独立な試行の確率 ・教材 サクシード（数研出版） ・一人1台端末の活用 等 Classi Note他	【知識・技能】 確率の意味、試行や事象の定義を理解している。 積事象、和事象の定義を理解して確率を求めることができる。 複雑な事象の確率を求めることができる。 独立な試行の確率を求めることができる。 【思考・判断・表現】 不確定な事象を、同様に確からしいという概念をもとに数量的に捉えることができる。 確率の性質を考察することができる。 独立な試行の確率を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 統計的確率と数学的確率の違いに興味・関心をもつ。 複雑な事象の確率を意欲的に求めようとする。 身近な事柄に確率の考え方を活用して考察しようとする。 独立な試行の確率について、興味をもって調べようとする。	○	○	○	12
	定期考査			○	○	○	1
	場合の数と確率 確率 【知識及び技能】 条件付き確率を記号を用いて表す。 条件付き確率や確率の乗法定理を用いて確率の計算する。 期待値の定義を理解し、期待値を求める。 【思考力、判断力、表現力等】 原因の確率について、条件付き確率を利用して求める方法を考察する。 期待値の考えを用いて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 条件付き確率や確率の乗法定理に興味・関心をもち、積極的に活用する。 身近な事柄に条件付き確率の考え方を活用して考察する。 日常の事象で期待値を用いて比較し、考察する。	・指導事項 条件付き確率、期待値 ・教材 サクシード（数研出版） ・一人1台端末の活用 等 Classi Note他	【知識・技能】 条件付き確率を記号を用いて表すことができる。 条件付き確率や確率の乗法定理を用いて確率の計算ができる。 期待値の定義を理解し、期待値を求めることができる。 【思考・判断・表現】 原因の確率について、条件付き確率を利用して求める方法を考察することができる。 期待値の考えを用いて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 条件付き確率や確率の乗法定理に興味・関心をもち、積極的に活用しようとする。 身近な事柄に条件付き確率の考え方を活用して考察しようとする。 日常の事象で期待値を用いて比較し、考察しようとする。	○	○	○	6
2 学 期	図形の性質 平面図形 【知識及び技能】 三角形の五心の定義、性質を理解する。 チェバの定理、メネラウスの定理を理解し、活用する。 円周角の定理、内接する四角形の性質を利用する。 方べきの定理を利用する。 2つの円の位置関係を利用する。 条件を用いて作図を表現する。 【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考察して図形の性質を証明する。 チェバの定理、メネラウスの定理について論理的に考察する。 円に内接する四角形の性質を論理的に考察する。 方べきの定理について考察する。 条件から作図する方法を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 三角形の五心に興味を示し、積極的に考察しようとする。 チェバの定理、メネラウスの定理に興味を示し、積極的に考察しようとする。 方べきの定理の導き方に興味・関心をもつ。 作図に興味・関心をもつ。	・指導事項 三角形の辺の比、五心、チェバの定理、メネラウスの定理、円、方べきの定理、作図 ・教材 サクシード（数研出版） ・一人1台端末の活用 等 Classi Note他	【知識・技能】 三角形の五心の定義、性質を理解している。 チェバの定理、メネラウスの定理を理解し、活用できる。 円周角の定理、内接する四角形の性質を利用できる。 方べきの定理を利用できる。 2つの円の位置関係を利用することができる。 条件を用いて作図をすることができる。 【思考・判断・表現】 論理的に考察して図形の性質を証明できる。 チェバの定理、メネラウスの定理について論理的に考察することができる。 円に内接する四角形の性質を論理的に考察することができる。 方べきの定理について、考察することができる。 条件から作図する方法を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 三角形の五心に興味を示し、積極的に考察しようとする。 チェバの定理、メネラウスの定理に興味を示し、積極的に考察しようとする。 方べきの定理の導き方に興味・関心をもつ。 作図に興味・関心をもつ。	○	○	○	12
	定期考査			○	○	○	1

	図形の性質 空間図形 【知識及び技能】 空間における2直線の位置関係やなす角を理解する。 正多面体の特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 空間において直線や平面について考察する。 多面体について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 空間における図形の位置関係について考えてみようとする。 オイラーの多面体定理について関心をもつ。	・指導事項 空間における直線と平面、多面体 ・教材 サクシード（数研出版） ・一人1台端末の活用 等 Classi Note他	【知識・技能】 空間における2直線の位置関係やなす角を理解している。 正多面体の特徴を理解している。 【思考・判断・表現】 空間において直線や平面について考察することができる。 多面体について考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 空間における図形の位置関係について考えてみようとする。 オイラーの多面体定理について関心をもつ。	○	○	○	6
	数学と人間の活動 【知識及び技能】 約数・倍数の意味を理解し、数について調べる。 自然数の素因数分解を求める。 最大公約数・最小公倍数を求める方法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 倍数の判定法を考察する。 約数の個数の考えを用いて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 日常生活における具体的な事象の考察に、約数と倍数の考え方を活用しようとする。 数学史に興味・関心をもち、学ぼうとする態度がある。	・指導事項 約数と倍数、素数、最大公約数、最小公倍数 ・教材 サクシード（数研出版） ・一人1台端末の活用 等 Classi Note他	【知識・技能】 約数・倍数の意味を理解し、数について調べることができる。 自然数の素因数分解を求めることができる。 最大公約数・最小公倍数を求める方法を理解している。 【思考・判断・表現】 倍数の判定法を考察することができる。 約数の個数の考えを用いて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 日常生活における具体的な事象の考察に、約数と倍数の考え方を活用しようとする。 数学史に興味・関心をもち、学ぼうとする態度がある。	○	○	○	6
	定期考査			○	○	○	1
3学期	数学と人間の活動 【知識及び技能】 互除法の原理を理解し、最大公約数を求める。 無理数であることの証明をする。 1次不定方程式の特殊解を求め、すべての整数解を求める。 記数法について理解する。 座標の考え方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 割り算の余りの性質について考察を深める。 互除法の計算から一般論に拡張し、考察する。 整数に関する問題を1次不定方程式に帰着させて考察する。 座標平面上の点について、適切な定理を利用して考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 割り算の方法や性質に興味・関心をもつ。 互除法の原理の証明に興味・関心をもつ。 数学史の話題を通じて数の表し方に興味・関心をもつ。 座標平面上で代数的に解決する解法のよさを知ろうとする。	・指導事項 整数の割り算、ユークリッドの互除法、1次不定方程式、記数法、座標の考え方、ゲーム・パズルの中の数学 ・教材 サクシード（数研出版） ・一人1台端末の活用 等 Classi Note他	【知識・技能】 互除法の原理を理解し、最大公約数を求めることができる。 無理数であることの証明ができる。 1次不定方程式の特殊解を求め、すべての整数解を求めることができる。 記数法について理解している。 座標の考え方を理解している。 【思考・判断・表現】 割り算の余りの性質について考察を深めることができる。 互除法の計算から一般論に拡張し、考察することができる。 整数に関する問題を1次不定方程式に帰着させて考察することができる。 座標平面上の点について、適切な定理を利用して考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 割り算の方法や性質に興味・関心をもつ。 互除法の原理の証明に興味・関心をもつ。 数学史の話題を通じて数の表し方に興味・関心をもつ。 座標平面上で代数的に解決する解法のよさを知ろうとする。	○	○	○	19
	定期考査			○	○	○	1
							合計
							78

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1部 生物の特徴 第1章 生物の特徴 第1節 生物の共通性と多様性 ○様々な生物を比較し、生物には多様性がある一方で共通性があることを見いだす。 ○多様な生物には、共通祖先を仮定できることを理解する。 ○3ドメイン説に基づき、バクテリア、アーキア、ユーカリアの共通点と相違点をもとに系統を理解する。 ・	第1節 生物の共通性と多様性 A 生物がもつ特徴 B 細胞と生物 C 細胞の構造	【知識・技能】 ①生物の特徴や細胞について理解している。 ②①について観察、実験などに関する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ①生物の特徴について、観察、実験などを通して探究することができる。 ②多様な生物がもつ共通の特徴を見い出して表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①学習内容に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりすることができる。 ②学習内容について、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	6
	第1部 生物の特徴 第1章 生物の特徴 第2節 生物とエネルギー ○代謝には同化と異化があることを理解する。 ○代謝に伴うエネルギーの移動にはATPが関わることを理解する。 ○代謝には酵素が関わることを理解する。 ○光合成と呼吸のしくみについて理解する。	第2節 生物とエネルギー A 代謝とエネルギー B 代謝と酵素 C 光合成と呼吸	【知識・技能】 ①代謝について理解している。 ②ATPの構造、代謝にはATPが関わることを説明できる。 ③①について観察、実験などに関する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ①酵素、光合成、呼吸に関する観察、実験などを通して探究することができる。 ②実験、観察を行い、結果を分析し、考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①学習内容に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりすることができる。 ②学習内容について、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	第2部 遺伝子とその働き 第2章 遺伝子とその働き 第1節 遺伝情報とDNA ○DNAの構造の解明に至るまでの研究の概要とDNAの構造の特徴について理解する。 ○DNAの複製について、塩基の相補性と複製を関連付けて理解する。	第1節 遺伝情報とDNA A DNAの構造 B DNAの複製 C 遺伝情報の分配	【知識・技能】 ①DNAの構造、自己複製、細胞周期について理解し、それらの研究史や行われた実験について説明することができる。 ②遺伝暗号表を正しく読むことができる。 ③転写と翻訳の過程を理解している。 ④組織からDNAを抽出することができる。また、実験操作の意味を理解している。 【思考・判断・表現】 ①DNAの塩基配列を遺伝暗号表を用いてアミノ酸配列にすることができる。 ②原核生物と真核生物の遺伝子の発現調節の違いについて判断することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①学習内容に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりすることができる。 ②学習内容について、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	10
	第2節 遺伝情報とタンパク質の合成 ○DNAの塩基配列とタンパク質のアミノ酸配列との関係を理解する。 ○遺伝暗号の特徴について理解する。 ○遺伝情報に基づくタンパク質合成の過程である、転写と翻訳の過程を理解する。	第2節 遺伝情報とタンパク質の合成 A 遺伝子発現とタンパク質 B タンパク質の合成 C 遺伝情報と遺伝子発現		○	○	○	15
	定期考査			○	○		1

2 学 期	第3部 ヒトの体の調節 第3章 神経系と内分泌による調節 第1節 情報の伝達 ○神経やホルモンによる情報の伝達、体内環境の維持の仕組みを理解する ○神経系と内分泌系による調節の特徴を見いだして理解する。 第2節 体内環境維持の仕組み ○血統濃度や体温、水分量を調節している仕組みについて、理解する。	第1節 情報の伝達 A 体液と恒常性 B 自律神経と恒常性 C 内分泌系 D ホルモン分泌の調節 第2節 体内環境の維持のしくみ A 血糖濃度の調節 B ヒトの体温調節 C 水分量の調節	【知識・技能】 ①ヒトの体の調節について、神経系と内分泌系による調節、免疫を理解している。 ②①についての観察、実験を行うための技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ①ヒトの体の調節について、観察、実験などを通して探究することができる。 ②神経系と内分泌系による調節及び免疫などの特徴を見いだして表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①学習内容に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりすることができる。 ②学習内容について、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	23
	定期考査			○	○		1
	第3部 ヒトの体の調節 第4章 免疫 第1節 免疫の働き ○生体には、異物を排除する防御機構が備わっていることを見いだして理解する。 ○生体防御には、自然免疫と獲得免疫があり、異物（非自己）を排除する防御機構が生体に備わっていることを理解する。 ○免疫寛容、自己免疫疾患、一次応答と二次応答における抗体産生量の変化などについて学ぶ。	第1節 免疫の働き A 生体防御 B 自然免疫 C 獲得免疫 D 免疫と病気	【知識・技能】 ①生体防御において、自己と非自己を認識し、非自己を排除する過程を説明することができる。 ②血液標本を作製することで、赤血球、白血球、血小板を指摘でき、理解している。 【思考・判断・表現】 ①自然免疫について観察、実験などを通して探究することができる。 ②脊椎動物における獲得免疫についてを理解し、抗原認識から抗体の生成、一次応答、二次応答の特徴を見だし、図やグラフで表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①学習内容に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりすることができる。 ②学習内容について、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	23
定期考査			○	○		1	
3 学 期	第4部 生物の多様性と生態系 第5章 植生と遷移 第1節 植生と遷移 ○バイオームの形成過程や、それぞれにバイオームを成立させる環境要因について理解する。 ○植物群落の遷移について学び、遷移をすすめる環境要因について学ぶ。 ○世界と日本のバイオームと、それぞれの生物多様性について学ぶ。	第1節 植生と遷移 A 環境 B 植生の遷移 C 遷移とバイオーム D 日本のバイオーム	【知識・技能】 ①生物の多様性と生態系について、植生と遷移、生態系とその保全を理解している。 ②①についての観察、実験などに関する技能を身に付けている。 ③生態系の保全の重要性について認識している。 【思考・判断・表現】 ①生物の多様性と生態系について、観察、実験などを通して探究することができる。 ②生態系における、生物の多様性及び生物と環境との関係性を見いだして表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①学習内容に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりすることができる。 ②学習内容について、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	14
	第4部 生物の多様性と生態系 第6章 生態系とその保全 第1節 生態系と生物の多様性 ○生態系とその保全について、生態系と生物の多様性、生態系のバランスと保全を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。また、生態系の保全の重要性について認識すること。 第2節 生態系のバランスと保全 ○生態系とその保全について、観察、実験などを通して探究し、生態系における、生物の多様性及び生物と環境との関係性を見いだして表現すること。 ○生態系とその保全に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うこと。	第1節 生態系と生物の多様性 A 生態系における生物どうしのつながり B 種多様性と生物間関係 第2節 生態系のバランスと保全 A 生態系のバランスと変動 B 生態系の保全	【知識・技能】 ①生態系の多様性、種の多様性、遺伝子の多様性について正しい知識をもち、その保全を理解している。 ②①についての観察、実験などに関する技能を身に付けている。 ③生態系の保全の重要性について認識している。 【思考・判断・表現】 ①生産者・消費者・分解者の役割を理解し、物質とエネルギーの循環について生物名を用いて考え表現できる。 ②観察や実験を通して生態系における、生物の多様性及び生物と環境との関係性を見いだすことができ、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①学習内容に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりすることができる。 ②学習内容について、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
合計							117

高等学校 令和7年度（1 学年用）教科 保健体育 科目 体育(男子)

教 科： 保健体育 科 目： 体育(男子)

単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）

使用教科書：（ 現代高等保健体育(大修館) 副教材：ステップアップ高校スポーツ ）

教科 保健体育 の目標： 生涯にわたり健康で健やかな生活を送るための知識技能を身につける

【知 識 及 び 技 能】 各種の運動の特性に応じた技能及び社会生活における健康・安全について理解するとともに技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育(男子) の目標： 生涯にわたり健康で健やかな生活を送るための知識技能を身につける

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することが出来るようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、事故や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 陸上競技 【知識及び技能】 ・それぞれの運動の特性を理解し、自分の動きとして身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、改善する。 ・運動の獲得に向け、合理的な取り組み方を見つけ実施する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に運動に参加する。 ・高い目標を持ち、挑戦する。 ・仲間と協力して活動にのぞむ。	・指導事項 ハードル走 ジャベリクスロー ・教材 ステップアップ高校スポーツ ・一人1台端末の活用 試技の様子を観察及び学習の振り返りのオンライン提出 等	【知識・技能】 ・技術の名称や行い方、運動観察の方法について理解している。 ・ハードル走では、スピードを維持した走りからハードルを低く、リズムカルに飛び越すことができる。 ・ジャベリクスローでは、短い助走からジャベリクスを前方にまっすぐ投げることができる。 【思考・判断・表現】 ・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・陸上競技に主体的に取り組んでいる。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。	○	○	○	10
	B ソフトボール 【知識及び技能】 ・ソフトボールの攻守における中心となる投球・捕球動作、バット操作を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、工夫して改善する。 ・運動の獲得に向け、合理的な取り組み方を見つけ実施する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に運動に参加する。 ・高い目標を持ち、挑戦する。 ・仲間と協力して活動にのぞむ。	・指導事項 狙ったところに投げる ゴロやフライを正確に捕球する 正確なバット操作 ・教材 ステップアップ高校スポーツ ・一人1台端末の活用 試技の様子を観察及び学習の振り返りのオンライン提出 等	【知識・技能】 ・安定したバット操作とボール、グローブ操作を身につけ、攻防をすることができる。 【思考・判断・表現】 ・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。 ・場面ごとに変化する状況を理解し、戦術を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ソフトボールに主体的に取り組んでいる。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。	○	○	○	10
	C 水泳 【知識及び技能】 ・背泳ぎで、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐ。 【思考力、判断力、表現力等】 ・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、工夫をして改善する。 ・運動の獲得に向け、合理的な取り組み方を見つけ実施する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に運動に参加する。 ・高い目標を持ち、挑戦する。 ・仲間と協力して活動にのぞむ。	・指導事項 背泳ぎ泳法 スタート、ターン ・ステップアップ高校スポーツ ・一人1台端末の活用 学習の振り返りのオンライン提出 等	【知識・技能】 ・背泳ぎの技術の構成要素を理解し、安定したフォームとペースで泳いでいる。 【思考・判断・表現】 ・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・水泳に主体的に取り組んでいる。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。	○	○	○	14
	D バレーボール 【知識及び技能】 ・バレーボールに必要な基礎的な技術を身につけ、攻防をする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、改善する。 ・運動の獲得に向け、合理的な取り組み方を見つけ実施する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に運動に参加する。 ・高い目標を持ち、挑戦する。 ・仲間と協力して活動にのぞむ。	・指導事項 アンダーハンドトス オーバーハンドトス サーブ ・教材 ステップアップ高校スポーツ ・一人1台端末の活用 試技の様子を観察及び学習の振り返りのオンライン提出 等	【知識・技能】 ・役割に応じたボール操作や、安定した技術を身につけることにより、空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・バレーボールに主体的に取り組んでいる。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。	○	○	○	10

2 学 期	F 武道(柔道) 【知識及び技能】 ・相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技、連絡技を用いて、相手を崩して投げたり、抑えたりするなどの攻防をする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自主的に運動に参加する。 ・高い目標を持ち、挑戦する。 ・仲間と協力して活動にのぞむ。	・指導事項 ・基本動作 ・受け身(横受け身、後ろ受け身、前回り受け身) ・教材 - ステップアップ高校スポーツ ・一人1台端末の活用 試技の様子を観察及び学習の振り返りのオンライン提出 等	【知識・技能】 ・姿勢と組み方では、相手の動きの変化に応じやすい自然体で取り組むことができる。 ・相手の投げ技に応じて横受け身、後ろ受け身、前回り受け身をとることができる。 【思考・判断・表現】 ・合理的な動きと事故や仲間の動きを比較して、練習の成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・柔道の学習に自主的に取り組もうとしている。 ・相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしている。	○	○	○	10
3 学 期	F 体づくり運動 【知識及び技能】 ・運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、工夫して改善する。 ・運動の獲得に向け、合理的な取り組み方を見つけ実施する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に運動に参加する。 ・高い目標を持ち、挑戦する。 ・仲間と協力して活動にのぞむ。	・指導事項 - 縄跳び - 体ほぐしの運動 ・教材 - ステップアップ高校スポーツ ・一人1台端末の活用 試技の様子を観察及び学習の振り返りのオンライン提出 等	【知識・技能】 ・縄跳び(短縄)の技の構成要素を理解し、安定した跳躍で技をこなすことができる。 【思考・判断・表現】 ・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・体づくり運動に主体的に取り組んでいる。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。	○	○	○	10
	G 陸上(持久走) 【知識及び技能】 ・自己に適したペースを維持して走る。 ・長い距離を走るためのフォーム、呼吸法を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・動きなどの自己や仲間の課題を発見することができる。 ・運動の獲得に向け、合理的な取り組み方を見つけ実施する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に運動に参加しようとする。 ・高い目標を持ち、挑戦しようとする。 ・仲間と協力して活動にのぞんでいる。	・指導事項 - 持久走 - 心拍数と運動強度 ・教材 - ステップアップ高校スポーツ ・一人1台端末の活用 試技の様子を観察及び学習の振り返りのオンライン提出 等	【知識・技能】 ・自己に適したペースを維持して走ることができる。 【思考・判断・表現】 ・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・持久走に主体的に取り組んでいる。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。	○	○	○	14
							合計
							78

高等学校 令和7年度（1 学年用）教科 保健体育 科目 体育(女子)

教 科： 保健体育 科 目： 体育(女子) 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（ 組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ）

使用教科書：（ 現代高等保健体育(大修館) 副教材：ステップアップ高校スポーツ ）

教科 保健体育 の目標： 生涯にわたり健康で健やかな生活を送るための知識技能を身につける

【知 識 及 び 技 能】 各種の運動の特性に応じた技能及び社会生活における健康・安全について理解するとともに技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育(女子) の目標： 生涯にわたり健康で健やかな生活を送るための知識技能を身につける

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することが出来るようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、事故や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 陸上競技 【知識及び技能】 ・それぞれの運動の特性を理解し、自分の動きとして身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・動きなどの自己や仲間の課題を発見することができる。 ・運動の獲得に向け、合理的な取り組み方を見つけ実施する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に運動に参加しようとする。 ・高い目標を持ち、挑戦しようとする。 ・仲間と協力して活動にのぞんでいる。	・指導事項 ハードル走 ジャベリクスロー ・ステップアップ高校スポーツ ・一人1台端末の活用 試技の様子の観察及び学習の振り返りのオンライン提出 等	【知識・技能】 ・技術の名称や行い方、運動観察の方法について理解している。 ・ハードル走では、スピードを維持した走りからハードルを低く、リズムカルに飛び越すことができる。 ・ジャベリクスローでは、短い助走からジャベリクスを前方にまっすぐ投げることができる。 【思考・判断・表現】 ・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・陸上競技に主体的に取り組んでいる。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。	○	○	○	10
	B ソフトボール 【知識及び技能】 ・ソフトボールの攻守における中心となる投球・捕球動作、バット操作を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・動きなどの自己や仲間の課題を発見することができる。 ・運動の獲得に向け、合理的な取り組み方を見つけ実施する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に運動に参加しようとする。 ・高い目標を持ち、挑戦しようとする。 ・仲間と協力して活動にのぞんでいる。	・指導事項 狙ったところに投げる ゴロやフライを正確に捕球する 正確なバット操作 ・ステップアップ高校スポーツ ・一人1台端末の活用 試技の様子の観察及び学習の振り返りのオンライン提出 等	【知識・技能】 ・安定したバット操作とボール、グローブ操作を身につけ、攻防をすることができる。 【思考・判断・表現】 ・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。 ・場面ごとに変化する状況を理解し、戦術を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ソフトボールに主体的に取り組んでいる。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。	○	○	○	10
	C 水泳 【知識及び技能】 ・背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・動きなどの自己や仲間の課題を発見することができる。 ・運動の獲得に向け、合理的な取り組み方を見つけ実施する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に運動に参加しようとする。 ・高い目標を持ち、挑戦しようとする。 ・仲間と協力して活動にのぞんでいる。	・指導事項 背泳ぎ泳法 スタート、ターン ・ステップアップ高校スポーツ ・一人1台端末の活用 学習の振り返りのオンライン提出 等	【知識・技能】 ・背泳ぎの技術の構成要素を理解し、安定したフォームとペースで泳いでいる。 【思考・判断・表現】 ・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。 ・場面ごとに変化する状況を理解し、戦術を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・水泳に主体的に取り組んでいる。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。	○	○	○	14

2 学 期	D バレーボール	【知識及び技能】 ・バレーボールに必要な基礎的な技術を身につけ、攻防をする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、改善する。 ・運動の獲得に向け、合理的な取り組み方を見つけ実施する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に運動に参加する。 ・高い目標を持ち、挑戦する。 ・仲間と協力して活動にのぞむ。	・指導事項 アンダーハンドトス オーバーハンドトス サーブ ・教材 ステップアップ高校スポーツ ・一人1台端末の活用 試技の様子の観察及び学習の振り返りのオンライン提出 等	【知識・技能】 ・役割に応じたボール操作や、安定した技術を身につけることにより、空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・バレーボールに主体的に取り組んでいる。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。					○	○	○	10
	E バasketボール	【知識及び技能】 ・Basketボールに必要な基礎的な技術を身につけ、攻防をする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、改善する。 ・運動の獲得に向け、合理的な取り組み方を見つけ実施する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に運動に参加する。 ・高い目標を持ち、挑戦する。 ・仲間と協力して活動にのぞむ。	・指導事項 ゴール下シュート ドリブルシュート ・教材 ステップアップ高校スポーツ ・一人1台端末の活用 試技の様子の観察及び学習の振り返りのオンライン提出 等	【知識・技能】 ・安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。 【思考・判断・表現】 ・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、改善する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・Basketボールに主体的に取り組んでいる。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。					○	○	○	10
3 学 期	F 体づくり運動	【知識及び技能】 ・運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、工夫して改善する。 ・運動の獲得に向け、合理的な取り組み方を見つけ実施する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に運動に参加する。 ・高い目標を持ち、挑戦する。 ・仲間と協力して活動にのぞむ。	・指導事項 縄跳び 体ほぐしの運動 ・教材 ステップアップ高校スポーツ ・一人1台端末の活用 試技の様子の観察及び学習の振り返りのオンライン提出 等	【知識・技能】 ・縄跳び（短縄）の技の構成要素を理解し、安定した跳躍で技をこなすことができる。 【思考・判断・表現】 ・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・体づくり運動に主体的に取り組んでいる。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。					○	○	○	10
	G 陸上（持久走）	【知識及び技能】 ・自己に適したペースを維持して走る。 ・長い距離を走るためのフォーム、呼吸法を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・動きなどの自己や仲間の課題を発見することができる。 ・運動の獲得に向け、合理的な取り組み方を見つけ実施する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に運動に参加しようとする。 ・高い目標を持ち、挑戦しようとする。 ・仲間と協力して活動にのぞんでいる。	・指導事項 持久走 心拍数と運動強度 ・教材 ステップアップ高校スポーツ ・一人1台端末の活用 試技の様子の観察及び学習の振り返りのオンライン提出 等	【知識・技能】 ・自己に適したペースを維持して走ることができる。 【思考・判断・表現】 ・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・持久走に主体的に取り組んでいる。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。					○	○	○	14 合計 78

教科 保健体育

の目標： 生涯にわたり健康で健やかな生活を送るための知識技能を身につける

【知識及び技能】個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

科目 保健 の目標：生涯にわたり健康で健やかな生活を送るための知識技能を身につける

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
健康水準、及び疾病構造の変化には、科学技術の発達、及び生活様式や労働形態を含む社会の状況が関わっていることを理解し、がん、脳血管疾患、虚血性心疾患、高血圧症、脂質異常症、糖尿病などを適宜取り上げ、これらの生活習慣病などのリスクを軽減し予防するには、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であること、定期的な健康診断やがん検診などを受診することが必要であることについて理解し、交通安全の理解からおうきょうであての意義・技術を習得することができる。感染症に対しては、深い理解から予防する技術を身に付ける。	生活習慣病などの予防と回復について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、我が国のこれまでの取組を個人への働きかけと社会環境への対策の面から分析したり、諸外国と比較したりして、防止策を評価している。応急手当について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。	健康の考え方、喫煙、飲酒、薬物乱用・現代の感染症とその予防・応急手当について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしており、生活習慣病とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	1 単元現代社会と健康 【知識及び技能】 ・さまざまな健康の考え方について例をあげて説明できる。 ・生活習慣病の種類と要因、生活習慣病の一次予防、二次予防について例をあげて説明できる。 ・がんのおもな治療法や緩和ケアについて説明できる。 ・食事と健康、健康と休養、健康と運動の関係について説明できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・健康の考え方、生活習慣病、喫煙、飲酒、薬物乱用の防止などの予防と回復について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 健康の考え方、生活習慣病とその予防、喫煙、飲酒、薬物乱用について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	・健康の考え方と成り立ち ・私たちの健康のすがた ・教材 ・一人1 台端末の活用 等 Classi Note他	【知識・技能】 さまざまな健康の考え方について例をあげて説明できることができる。 【思考・判断・表現】 健康の考え方について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして筋道を立てて説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしているか。	○		○	3
		・生活習慣病の予防と回復 ・がんの原因と予防 ・がんの治療と回復 ・教材 ・一人1 台端末の活用 等 Classi Note他	【知識・技能】 がん、脳血管疾患、虚血性心疾患、高血圧症、脂質異常症、糖尿病などを適宜取り上げ、これらの生活習慣病などのリスクを軽減し予防するには、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であること、定期的な健康診断やがん検診などを受診することが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりすることができる。 【思考・判断・表現】 生活習慣病などの予防と回復について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 生活習慣病とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしているか。	○		○	5
		・運動と健康 ・食事と健康 ・休養・睡眠と健康 ・教材 ・一人1 台端末の活用 等 Classi Note他	【知識・技能】 ・がん、脳血管疾患、虚血性心疾患、高血圧症、脂質異常症、糖尿病などを適宜取り上げ、これらの生活習慣病などのリスクを軽減し予防するには、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であること、定期的な健康診断やがん検診などを受診することが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりできる。 【思考・判断・表現】 生活習慣病などの予防と回復について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生活習慣病とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○		4
	定期考査					○	○

1	単元現代社会と健康 【知識及び技能】 喫煙や飲酒は、生活習慣病などの要因となり心身の健康を損ね、健康課題を防止する正しい知識の普及、健全な価値観の育成などの個人への働きかけ、及び法的な整備も含めた社会環境への適切な対策が必要であることについて、理解する。 ・コカイン、MDMA などの麻薬、覚醒剤、大麻、など、薬物の乱用は、心身の健康、社会の安全などに対して深刻な影響を及ぼすことから、決して行てはならないことについて、理解している。 ・精神疾患の例をあげ、発病の要因とおもな症状について説明できる。 ・感染症とは何かについて潜伏期間や感染力なども含めて説明できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・精神疾患の予防と回復について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・現代の感染症とその予防について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・喫煙、飲酒、薬物乱用について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 ・精神疾患の予防とその回復について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 ・現代の感染症とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	・喫煙と健康 ・飲酒と健康 ・薬物乱用と健康 ・教材 ・一人1 台端末の活用 等 Classi Note他	【知識・技能】 喫煙や飲酒は、生活習慣病などの要因となり心身の健康を損ねること、喫煙や飲酒による健康課題を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観の育成などの個人への働きかけ、及び法的な整備も含めた社会環境への適切な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりすることができる。 【思考・判断・表現】 喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、我が国のこれまでの取組を個人への働きかけと社会環境への対策の面から分析したり、諸外国と比較したりして、防止策を評価できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 喫煙、飲酒、薬物乱用について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組むことができる。	○		○	3
	・精神疾患の特徴 ・精神疾患の予防 ・精神疾患からの回復 ・教材 ・一人1 台端末の活用 等 Classi Note他	【知識・技能】 人々が精神疾患について正しく理解するとともに、専門家への相談や早期の治療などを受けやすい社会環境を整えることが重要であること、偏見や差別の対象ではないことについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 精神疾患の予防と回復について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 精神疾患の予防とその回復について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。		○	○	5	
	・現代の感染症 ・感染症の予防性感染症 ・エイズとその予防 ・教材 ・一人1 台端末の活用 等 Classi Note他	【知識・技能】 感染症のリスクを軽減し予防するには、衛生的な環境の整備や検疫、正しい情報の発信、予防接種の普及など社会的な対策とともに、それらを前提とした個人の取組が必要であること、エイズ及び性感染症についても、その原因、及び予防のための個人の行動選択や社会の対策について、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 現代の感染症とその予防について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代の感染症とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○		4	
	・健康に関する意思決定・行動選択	【知識・技能】 適切な意思決定や行動選択には、個人の知識、価値観、心理状態、及び人間関係などを含む社会環境が関連していることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・健康を保持増進するための環境には、自然環境、及び政策や制度、地域活動などの様々な社会環境があることについて、理解したことを言ったり書いたりできる。 【思考・判断・表現】 健康の考え方について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○		○	3	
2	定期考査			○	○		1

下 期	2単元 安全な社会生活 【知識及び技能】 ・交通事故を防止するには、自他の生命を尊重するとともに、自分自身の心身の状態や周りの環境、車両の特性などを把握すること、及び個人の適切な行動、交通環境の整備が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・心肺停止状態においては、急速に回復の可能性が失われつつあり、速やかな気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫、AED（自動体外式除細動器）の使用などが必要であること、及び方法や手順について、実習を通して理解したことを言ったり書いたりし、AED などを用いて心肺蘇生法ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・交通安全について、習得した知識を基に、事故につながる危険を予測し回避するための自他や社会の取組を評価している。 ・応急手当について、安全に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・安全な社会づくりについて、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 ・応急手当について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	・事故の現状と発生要因 ・教材 ・一人1台端末の活用 等 Classi Note他	【知識・技能】 事故を防止したり事故の発生に伴う傷害等を軽減したりすることを目指す安全な社会の形成には、交通安全、防災、防犯などを取り上げて、法的な整備などの環境の整備、環境や状況に応じた適切な行動などの個人の取組、及び地域の連携などが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりできる。 【思考・判断・表現】 安全な社会づくりについて、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 安全な社会づくりについて、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○		○	4
		・応急手当の意義とその基本 ・日常的な応急手当 ・心肺蘇生法 ・教材 ・一人1台端末の活用 等 Classi Note他	【知識・技能】 日常生活で起こる傷害や、熱中症などの疾病の際には、それに応じた体位の確保・止血・固定などの基本的な応急手当の方法や手順があることを、実習を通して理解し、応急手当ができるようにする。 【思考・判断・表現】 応急手当について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 応急手当について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。		○	○	5
	定期考査			○	○		1
							合計 39

	打楽器アンサンブルでリズム創作をしよう 【知識及び技能】楽器の音色や奏法との関わりについて知り、打楽器の特徴を生かして演奏する。音楽を形作っている要素、及び音楽に関する用語や記号などについて音楽における働きと関わらせて理解する。自己のイメージをもって創作表現を創意工夫するために、音型やリズムなどの特徴及び構成上の特徴について表したいイメージと関わらせて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】表現形態の特徴を生かし、他者との調和を意識して演奏する。 【学びに向かう力、人間性等】他者との調和を意識し、主体的・協働的に取り組み音楽を愛好する心情を養う。	サンバ（ボサノバ）「風になりたい」でサンバの打楽器演奏と、8小節のリズム創作をする。 ・発表会形式テスト ・デジタル音源配信				【知識及び技能】楽器の音色や奏法との関わりについて知り、打楽器の特徴を生かして演奏している。音楽を形作っている要素、及び音楽に関する用語や記号などについて音楽における働きと関わらせて理解する。自己のイメージをもって創作表現を創意工夫するために、音型やリズムなどの特徴及び構成上の特徴について表したいイメージと関わらせて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】表現形態の特徴を生かし、他者との調和を意識して演奏している。 【学びに向かう力、人間性等】他者との調和を意識し、主体的・協働的に取り組んでいる。				8
	世界の芸術歌曲に親しもう。 【知識及び技能】言葉の特性と曲種に応じた発声とかかわりについて理解する。創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、他者との調和を意識して歌う技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージを持って歌唱表現を創意工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】主体的・協働的に取り組み音楽を愛好する心情を養う。	イタリア歌曲・ドイツ歌曲・シャンソン・日本歌曲を独唱や少人数アンサンブルをする。 ・デジタル音源配信 ・個人実技テスト				【知識及び技能】言葉の特性と曲種に応じた発声とかかわりについて理解する。創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、他者との調和を意識して歌う技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、近況したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージを持って歌唱表現を創意工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】主体的・協働的に取り組んでいる。				8
3 学期	ピアノ伴奏混声四部合唱曲を合唱する。 【知識及び技能】言葉の特性と曲種に応じた発声とかかわりについて理解する。創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、他者との調和を意識して歌う技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージを持って歌唱表現を創意工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】主体的・協働的に取り組み音楽を愛好する心情を養う。	ピアノ伴奏つぎ混声合唱曲に取り組む。 ・パート別デジタル音源配信				【知識及び技能】各国の言葉の特性や発音と合唱にふさわしい発声とかかわりについて理解している。創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、他者との調和を意識して歌う技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージを持って歌唱表現を創意工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】主体的・協働的に合唱練習に取り組んでいる。				10 合計 78

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 芸術 科目 美術Ⅰ

教科： 芸術 科目： 美術Ⅰ 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（1，2 組： ） （3，4 組： ） （5，6 組： ） （7，8 組： ）

使用教科書：（美術Ⅰ（日本文教出版））

教科 芸術 の目標：

- 【知識及び技能】
- 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】
- 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】
- 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 美術Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現				鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			絵 ・ 彫	デ	映							
1 学 期	1 自己表現シートの制作 2 グラデーションを編む 3 デザイン概論（通年） 【知識及び技能】 ・意図に応じて材料や用具の特性を生かす。 ・表現方法を創意工夫し、目的や計画を基に創造的に表す。 【思考力、判断力、表現力等】 ・目的や条件・美しさなどを考え、主題を生成する。 ・デザインの機能や効果、表現形式の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的にデザインの表現及び鑑賞の活動に取り組む。	オリエンテーション 1 自分表現の要素を探す ・自己発見 ・描画 2 グラデーションを編む ・色彩の三要素（色相、明度、彩度）について知る ・アクリルガッシュによる色相のグラデーション、明度または彩度のグラデーションの制作 ・カッターナイフで短冊状に切る ・編み込んでフレームをつける ・審査・鑑賞活動 3 デザイン概論 ・デザイン思考、デザイン視点について知る。キャリアデザインを組み合わせた社会の中のデザインの役割を知る		○			○	1 自己表現シートの制作 2 グラデーションを編む 3 デザイン概論 【知識及び技能】 ・段階的な色の変化を表すために描画材、筆の特性を生かし制作している。 ・色彩三要素（色相、明度、彩度）等の働きを理解し、効果を作品上に表している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・制作を通して色彩について理解することを意識し、条件、美しさを考えてテーマを生み出している。 ・色を組み、編み込むことにより生まれる効果を考えながら表現を考えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的にデザインの表現及び鑑賞の活動に取り組んでいる。（準備・制作・片付けを含むタイムマネジメント管理、授業への取り組み、発言、デザインノート等）	○	○	○	4
	1 1 自己表現シートの制作 2 2 グラデーションを編む 3 3 デザイン概論（通年） 【知識及び技能】 ・意図に応じて材料や用具の特性を生かす。 ・表現方法を創意工夫し、目的や計画を基に創造的に表す。 【思考力、判断力、表現力等】 ・目的や条件・美しさなどを考え、主題を生成する。 ・デザインの機能や効果、表現形式の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的にデザインの表現及び鑑賞の活動に取り組む。	・参考作品など、ストップモーションアニメーションの鑑賞 ・アイデアスケッチ・資料収集 ・絵コンテ ・造形など ・タブレット端末撮影 ・ImgPlay及びiMovieアプリ等による編集、中間発表 ・仕上げ ・上映					○	1 1 自己表現シートの制作 2 2 グラデーションを編む 3 3 デザイン概論 【知識及び技能】 ・意図に応じて、imgPlayやiMovieの機能や粘土や絵の具の特性を生かしている。 ・動きや変化の表現方法を工夫して、効果的に作品のテーマを表している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・感じ取ったことや考えたことを基にアニメーションの特性を生かしてテーマを生み出している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に映像メディア表現の表現及び鑑賞の活動に取り組んでいる。（振り返りシート、授業時の様子及び発言）	○	○	○	16
	1 1 自己表現シートの制作 2 2 グラデーションを編む 3 3 デザイン概論（通年） 【知識及び技能】 ・意図に応じて材料や用具の特性を生かす。 ・表現方法を創意工夫し、目的や計画を基に創造的に表す。 【思考力、判断力、表現力等】 ・目的や条件・美しさなどを考え、主題を生成する。 ・デザインの機能や効果、表現形式の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的にデザインの表現及び鑑賞の活動に取り組む。	・参考作品など、ストップモーションアニメーションの鑑賞 ・アイデアスケッチ・資料収集 ・絵コンテ ・造形など ・タブレット端末撮影 ・ImgPlay及びiMovieアプリ等による編集、中間発表 ・仕上げ ・上映					○	1 1 自己表現シートの制作 2 2 グラデーションを編む 3 3 デザイン概論 【知識及び技能】 ・意図に応じて、imgPlayやiMovieの機能や粘土や絵の具の特性を生かしている。 ・動きや変化の表現方法を工夫して、効果的に作品のテーマを表している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・感じ取ったことや考えたことを基にアニメーションの特性を生かしてテーマを生み出している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に映像メディア表現の表現及び鑑賞の活動に取り組んでいる。（振り返りシート、授業時の様子及び発言）	○	○	○	16

[illegible]

高等学校 令和7年度（1 学年用） 教科 芸術 科目 書道 I

教 科： 藝術

科目：書道Ⅰ

單位數： 2 單位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（ 1～8組： ）

使用教科書：（東京書籍「書道Ⅰ」）

教科 芸術

の目標：

【知 識 及 び 技 能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにす

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 書道Ⅰ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい伝えたりすることができるようにする。	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたる書を愛する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

[illegible]

高等学校 令和7年度（1 学年用）教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅠ

教 科： 外国語 科 目： 英語コミュニケーションⅠ 単位数： 3 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）

使用教科書：（ Heartening English CommunicationⅠ（桐原書店） ）

教科 外国語 の目標：

【知 識 及 び 技 能】 言語能力の本質としての思考力・判断力・表現力の養成を土台として、中学校までに習得した能力を更に伸長させながら、英語の基礎的な知識や技能の習得、コミュニケーション能力の養成を図る。

【思考力、判断力、表現力等】 実際のコミュニケーションにおけるメッセージの役割を重視し、生徒の興味・関心を喚起する題材内容を提供すると共に、対話的な学びや深い学びを引き出す統合的かつ創造的な言語活動を目指す。

【学びに向かう力、人間性等】 生徒の段階に応じて自律的な学習のための支援を提供し、主体的な学びを促進するとともに、自ら学びに向かう力を養成する。

科目 英語コミュニケーションⅠ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
コミュニケーションのためのことばの知識・技能の習得に加えて、ことばを通して思考力・判断力・表現力を高め、豊かな言語観を育成する。	今日のグローバル社会に生きる子どもたちに、英語を学びながら、人間としての生き方やものの見方、考え方、ならびに世界観に目を向けさせ、多様化する社会の中で自らの力で考え、判断し、表現できる力を培う。	ますます複雑化する国際社会の中で、比較文化の視点に立ち、世界のさまざまな言語や民族に対して目を向けさせ、人類としての共通性だけでなく地域や民族の個性も同時に尊重し合う、豊かな文化観と真の国際理解のための資質・能力を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 〔 や 〕	話 〔 発 〕	書					
1 学 期	【Lesson 1】 Bringing Out the Best in Himself 英語を学習しながらNBA選手になる夢を実現した八村塁選手の半生を描いた物語文。自主・自律の精神を養い、他者との協力を重んずる態度を養う。 【Lesson 2】 Hold On, Anzu! 捨てられた小型犬が警察犬として活躍するまでを述べた物語文。個人の価値を尊重し、その能力を伸ばす精神を培い、生命を尊ぶ態度を養う。	・現在形／過去形／進行形 ・現在完了形／現在完了進行形 ・過去完了形／過去完了進行形 ・未来表現						【Lesson 1】 Bringing Out the Best in Himself 〔知・技〕本課で学習する文法や新語の意味の理解を基に、英文の内容を読み取る技能を身に付けている。〔思・判・表〕八村選手のことをバスケットボール部へ入りたい友人に伝えるために、わかりやすく整理して話している。〔態度〕単元目標の活動をおこなうために、八村選手についての記事を読んで概要を捉えようとしている。				18
	定期考査							【Lesson 2】 Hold On, Anzu! 〔知・技〕本課で学習する文法や新語の意味の理解を基に、英文の内容を読み取る技能を身に付けている。〔思・判・表〕アンズの印象について、自分の感想を整理してわかりやすく書いている。〔態度〕アンズの印象について、自分の感想を整理してわかりやすく書こうとしている。				1
	【Lesson 3】 We Can Make a Difference 世界の人々が受けている気候変動の影響と、問題への取り組みについて述べた説明文・意見文。自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う。 【Lesson 4】 Creative Problem Solving 人間の心理や行動の特徴を利用し、創造的にボイ捨てをなくす方法を述べた論証文。公共の精神に基づき、主体的に社会に参画する態度を養う。	・助動詞 ・助動詞の過去形 ・さまざまな受動態 ・前置詞						【Lesson 3】 We Can Make a Difference 〔知・技〕本課で学習する文法や新語の意味の理解を基に、英文の内容を読み取る技能を身に付けている。〔思・判・表〕単元目標の活動をおこなうために、気候変動が及ぼす影響に関する投稿文を読んで、問題点や意見を捉えている。〔態度〕単元目標の活動をおこなうために、気候変動が及ぼす影響に関する投稿文を読んで、問題点や意見を捉えようとしている。				19
	定期考査							【Lesson 4】 Creative Problem Solving 〔知・技〕本課で学習する表現などを用いて、話し合いのなかで賛成・反対を表明し、決定にむけた意見交換する技能を身に付けている。〔思・判・表〕単元目標の活動をおこなうために、ボイ捨て削減に関する論証文を読んで、概要やメッセージを捉えている。〔態度〕単元目標の活動をおこなうために、ボイ捨て削減に関する論証文を読んで、概要やメッセージを捉えようとする。				1

2 学 期	【Lesson 5】Canned Bread to Feed the World 食糧廃棄問題の解決と飢餓地域への支援を可能とするシステムを構築したパン・アキモトの取り組みを述べた物語文。主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する精神を養う。	・不定詞 (to＋動詞) の原形) ・知覚動詞・使役動詞＋O＋動詞の原形 ・動名詞 (doing) ・SVC (分詞)							【Lesson 5】 Canned Bread to Feed the World [知・技] 本課で学習する文法や新語の意味の理解を基に、英文の内容を読み取る技能を身に付けている。〔思・判・表〕単元目標の活動をおこなうために、パンの缶詰と救傷島プロジェクトの記事を読んで、要点や詳細を捉えている。〔態度〕単元目標の活動をおこなうために、パンの缶詰と救傷島プロジェクトの記事を読んで、要点や詳細を捉えようとしている。	○	○	○	○	26
	【Lesson 6】 Could We Have a Real Jurassic Park? 恐竜再生の可能性について論じた説明文。幅広い教養を身に付け、真理を求める態度や道徳心を養う。		○	○	○	○			【Lesson 6】 Could We Have a Real Jurassic Park? [知・技] 恐竜再生の可能性について、要点や根拠を整理し、本課で学習した新語などを用いて話す技能を身に付けている。 〔思・判・表〕単元目標の活動をおこなうために、恐竜再生の可能性に関する講義を読んで、要点や詳細を捉えている。〔態度〕相手の発言の意図を確認しながら、自分の意見を伝えようとしている。	○	○	○	○	1
	定期考査									○	○			
	【Lesson 7】Behind the Price Tag 安価な衣類製造プロセスにおける労働者の実態を述べた説明文と、問題に対して対立する二者の意見文。正義と責任を重んずるとともに、主体的に社会の形成に参画する態度を養う。	・SVOC(分詞) ・分詞構文 ・比較に関する表現 ・従属接続詞							【Lesson 7】 Behind the Price Tag [知・技] 現代のファッション業界の問題点について、異なる立場の主張を交えながらパラグラフで書く技能を身に付けている。〔思・判・表〕現代のファッション業界の問題点について、異なる立場の主張を交えながらパラグラフで書いている。					
	【Lesson 8】The World's Winter Festivals 世界の冬の祭りを比較し、その共通性について論じた説明文。日本をはじめ他国の伝統や文化を尊重する精神を培う。		○	○	○	○			【Lesson 8】 The World's Winter Festival [知・技] ブルガリアと日本の祭りの共通性について整理し、本課で学習した新語などを用いて話したり書いたりする技能を身に付けている。〔思・判・表〕単元目標の活動をおこなうために、祭りに関する本を読み、世界の祭りを比較しながら要点や詳細を捉えている。〔態度〕ブルガリアと日本の祭りの共通性について整理し、わかりやすく伝えようとしている。	○	○	○	○	20
	定期考査									○	○			1
3 学 期	【Lesson 9】Talking Trees 木々が大きな森となって繁栄するために互いに協力している科学的事実を述べた説明文を通じ、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う。	・関係代名詞(who, which, that, whom, what) ・関係副詞(when, where, why)／関係代名詞の非制限用法 ・仮定法過去／仮定法過去完了 ・仮定法を使った表現							【Lesson 9】 Talking Trees [知・技] 本課で学習する文法や新語の意味の理解を基に、英文の内容を読み取る技能を身に付けている。〔思・判・表〕単元目標の活動をおこなうために、木のコミュニケーションに関する展示を読んで、要点や詳細を捉えている。〔態度〕木のコミュニケーションの方法についてわかりやすく説明しようとしている。					
	【Lesson 10】Capturing the Reality of the World フォトジャーナリスト安田菜津紀氏が仕事を通じて学んだ使命について述べた物語文。主体的に社会の形成に参画し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う。		○	○	○	○			【Lesson 10】 Capturing the Reality of the World [知・技] 安田さんの情報やメッセージを整理して、本課で学習した新語などを用いて書く技能を身に付けている。〔思・判・表〕安田さんへのインタビューを聞き、要点や詳細を捉えている。〔態度〕単元目標の活動をおこなうために、安田さんがフォトジャーナリズムで探求したいことを捉えて	○	○	○	○	29
	定期考査									○	○			1 合 計 11

高等学校 令和7年度（1 学年用）教科 外国語 科目 論理・表現Ⅰ

教科：外国語 科目：論理・表現Ⅰ 単位数：3 単位
対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組
教科担当者：（ 1 組： ）（ 2 組： ）（ 3 組： ）（ 4 組： ）（ 5 組： ）（ 6 組： ）
使用教科書：（ Vision Quest English Logic and ExpressionⅠ（啓林館） ）
教科 外国語 の目標：

- 【知識及び技能】伝えるべきことを的確に受け取り、発信するために必要な文法事項を身に着ける
- 【思考力、判断力、表現力等】獲得した知識を使用して、文化的背景も考慮しつつ、的確な表現ができるようになる。
- 【学びに向かう力、人間性等】伝えたい事項を、書く、話すを通じて積極的に表現する

科目 論理・表現Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
伝えるべきことを的確に受け取り発信するために必要な基礎的な文法事項を身に着ける。	文化的な背景も学びつつ、獲得した知識を使って表現したいことを的確に行うことができる。	書く、話す活動を通して、獲得した知識を的確に使って、表現しようとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 〔 や 〕	話 〔 発 〕	書					
1 学 期	Lesson1 【知識及び技能】疑問文や命令文、感嘆文を適切に作れ、応答の仕方にも身に着けさせる 【思考力、判断力、表現力等】相手の発話に適切な応答を返せるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】命令文、感嘆文を活用し、積極的に表現しようとする。	・指導事項 命令文、疑問文、感嘆文 ・教材 教科書及びハンドアウト	○	○	○	○	○	Lesson1 【知識及び技能】疑問文や命令文、感嘆文を適切に作れ、応答もできる 【思考力、判断力、表現力等】相手の発話に適切な応答を返せる。 【学びに向かう力、人間性等】命令文、感嘆文を活用し、積極的に表現できる。	○	○	○	9
	Lesson2 【知識及び技能】5つの文型とthere is 構文を理解し、使用することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】賛成、反対の意思を示すことができるようになる 【学びに向かう力、人間性等】普段の生活について具体的に描写できる。	・指導事項 5文型、there is 構文 ・教材 教科書及びハンドアウト ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	Lesson2 【知識及び技能】5つの文型とthere isの構文を理解し、使用することができる。 【思考力、判断力、表現力等】賛成、反対の意思を示すことができる 【学びに向かう力、人間性等】普段の生活について具体的に描写できる。	○	○	○	9
	定期考査			○			○		○	○		1
	Lesson3 【知識及び技能】基本時制の基本概念を学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】励ます、計画する表現を学ぶ 【学びに向かう人間性等】自分が予定していることについて具体的に詳細を書ける	・指導事項 基本時制 ・教材 教科書 及びハンドアウト ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	Lesson3 【知識及び技能】基本時制の基本概念が理解できている 【思考力、判断力、表現力等】励ます、計画する表現できる4 【学びに向かう人間性等】自分が予定していることについて具体的に詳細を書ける	○	○	○	9
	Lesson4 【知識及び技能】様々な完了形の内容を理解し的確に使い分ける事ができるようにする【思考力、判断力、表現力等】経験を尋ねたり、述べる事ができる 【学びに向かう力、人間性等】初めて経験したことについて描写できるようにする	・指導事項 完了時制 ・教材 教科書及びハンドアウト ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	Lesson4 【知識及び技能】様々な完了形の内容を理解し的確に使い分ける事ができる 【思考力、判断力、表現力等】経験を尋ねたり、述べる事ができる 【学びに向かう力、人間性等】初めて経験したことについて描写できる	○	○	○	9
	Lesson5 【知識及び技能】助動詞のそれぞれの用法を理解し、適切に使い分けて表現できるようにする【思考力、判断力、表現力等】許可を求めたり、依頼する事ができるようにする【学びに向かう力、人間性等】各家庭のルールを適切な根拠を加えて伝えようとする	・指導事項 助動詞 ・教材 教科書及びハンドアウト ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	Lesson5 【知識及び技能】助動詞のそれぞれの用法を理解し、適切に使い分けて表現できる【思考力、判断力、表現力等】許可を求めたり、依頼する事ができる【学びに向かう力、人間性等】各家庭のルールを適切な根拠を加えて伝えようとする	○	○	○	9
	定期考査			○			○		○	○		1

2 学 期	Lesson 6 【知識及び技能】受動態の用法を理解し、適切に使って表現できるようにする 【思考力、判断力、表現力等】様々な表現を用いて原因や影響について表現できるようにする 【学びに向かう力、人間性等】最近驚いたことについて考えや気持ちなどを適切に書いて伝えようとする	・指導事項 受動態 ・教材 教科書及びハンドアウト ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	Lesson 6 【知識及び技能】受動態の用法を理解し、適切に使って表現できる 【思考力、判断力、表現力等】様々な表現を用いて原因や影響について表現できる 【学びに向かう力、人間性等】最近驚いたことについて考えや気持ちなどを適切に書いて伝えられる	○	○	○	10
	Lesson 7 【知識及び技能】不定詞の様々な用法を理解し、適切に使って表現できるようにする 【思考力、判断力、表現力等】様々な表現を用いて感謝や謝罪について表現できるようにする 【学びに向かう力、人間性等】自分の夢について理由や根拠も含めて適切に書いて伝えようとする	・指導事項 不定詞 ・教材 教科書及びハンドアウト ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	Lesson 7 【知識及び技能】不定詞の様々な用法を理解し、適切に使って表現できる 【思考力、判断力、表現力等】様々な表現を用いて感謝や謝罪について表現できる 【学びに向かう力、人間性等】自分の夢について理由や根拠も含めて適切に書いて伝えられる	○	○	○	10
	定期考査			○			○		○	○		1
	Lesson 8 【知識及び技能】動名詞の様々な用法を理解し、適切に使って表現できるようにする 【思考力、判断力、表現力等】様々な表現を用いて依頼や推薦について表現できるようにする 【学びに向かう力、人間性等】自分の得意な事について理由や根拠も含めて適切に書いて伝えようとする	・指導事項 動名詞 ・教材 教科書及びハンドアウト ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	Lesson 8 【知識及び技能】動名詞の様々な用法を理解し、適切に使って表現できる 【思考力、判断力、表現力等】様々な表現を用いて依頼や推薦について表現できる 【学びに向かう力、人間性等】自分の得意な事について理由や根拠も含めて適切に書いて伝えられる	○	○	○	10
	Lesson 9 【知識及び技能】分詞の様々な用法を理解し、適切に使って表現できるようにする 【思考力、判断力、表現力等】様々な表現を用いて物事を描写したり、判断の根拠について表現できるようにする 【学びに向かう力、人間性等】日本的な事象について具体的にかつ根拠も含めて適切に書いて伝えようとする	・指導事項 分詞 ・教材 教科書及びハンドアウト ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	Lesson 9 【知識及び技能】分詞の様々な用法を理解し、適切に使って表現できる 【思考力、判断力、表現力等】様々な表現を用いて物事を描写したり、判断の根拠について表現できる 【学びに向かう力、人間性等】日本的な事象について具体的にかつ根拠も含めて適切に書いて伝えられる	○	○	○	10
	Lesson 10 【知識及び技能】関係詞を用いて語句を補足したり、限定したりできるようにする 【思考力、判断力、表現力等】物事の経緯を説明したり言い換えや要約ができるようにする 【学びに向かう力、人間性等】あの町に住みたいかなど具体的にかつ根拠も含めて適切に書いて伝えようとする	・指導事項 関係詞 ・教材 教科書及びハンドアウト ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	Lesson 10 【知識及び技能】関係詞を用いて語句を補足したり、限定したりできる 【思考力、判断力、表現力等】物事の経緯を説明したり言い換えや要約ができる 【学びに向かう力、人間性等】ドンあの町に住みたいかなど具体的にかつ根拠も含めて適切に書いて伝えられる	○	○	○	10
3 学 期	定期考査			○			○		○	○		1
	Lesson11 【知識及び技能】比較の用法を理解し、適切に使って表現できるようにする 【思考力、判断力、表現力等】様々な表現を用いて提案や称賛について表現できるようにする 【学びに向かう力、人間性等】本と映画についてどちらに興味があるかなど比較しながら根拠を示しながら適切に書いて伝えようとする	・指導事項 比較 ・教材 教科書及びハンドアウト ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	Lesson11 【知識及び技能】比較の用法を理解し、適切に使って表現できる 【思考力、判断力、表現力等】様々な表現を用いて提案や称賛について表現できる 【学びに向かう力、人間性等】本と映画についてどちらに興味があるかなど比較しながら根拠を示しながら適切に書いて伝えられる	○	○	○	9
	Lesson12 【知識及び技能】仮定法の用法を理解し、適切に使って表現できるようにする 【思考力、判断力、表現力等】様々な表現を用いて願望や助言について表現できるようにする 【学びに向かう力、人間性等】タイムマシンがあったら行きたい時代について根拠とともに考えや気持ちなどを適切に書いて伝えようとする	・指導事項 仮定法 ・教材 教科書及びハンドアウト ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	Lesson12 【知識及び技能】仮定法の用法を理解し、適切に使って表現できる 【思考力、判断力、表現力等】様々な表現を用いて願望や助言について表現できる 【学びに向かう力、人間性等】タイムマシンがあったら行きたい時代について根拠とともに考えや気持ちなどを適切に書いて伝えられる	○	○	○	8
	定期考査			○			○		○	○		1
合計												117

高等学校 令和7年度（1 学年用）教科 家庭 科目 家庭基礎

教 科： 家庭 科 目： 家庭基礎 単位数： 2 単位
対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組
教科担当者：（1～8 組：
使用教科書：（ Agenda 家庭基礎 ）

教科 家庭 の目標：
【知 識 及 び 技 能】生活を主体的に営むために必要な、知識や技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】周囲と協働し、自分・家庭・地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目 家庭基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生活の自立・充実・向上を目指し、主体的に営むために必要な「人の一生と家族・家庭、福祉、衣食住、消費生活、環境」などの基礎的なことについて理解するとともに、それらに係る技能を身につける。	身近な生活から社会や世界を見定め、資源やエネルギー、環境問題までグローバルな視点で読み取る力を養う。そして生活の中から問題を見いだし課題を設定して、解決する力を養う。	学んだ知識と技能を活かし、自らの生活の中に課題を見いだして改善しようとするとともに、様々な人々と協働してよりよい社会の構築に向けて地域社会に参画しようとする態度と力を身につける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	1章 自分・家族 ～多様化した社会に生きる～ ・家族、家庭生活を取り巻く社会環境の変化を理解し、この社会の中で誰とどのような関係をつくり、何を選択して生きていくのか、これからの人生を想像して自立に向けて目的意識をもつ。 ・人の一生は、法律や制度とのかかわりが深いことを理解する。さらに、民法改正によって変化する社会生活について理解を深める。	指導事項 ・生き方の多様性とこれからの人生 ・青年期の自立 ・社会の変化と家族の変化 ・家族の現状と課題、法律 教材 教科書、資料集、ipad classi noteの利用他	【知識・技能】 生涯発達の視点で青年期の課題を理解し、家族・家庭の機能と家族関係、家族・家庭生活を取り巻く社会環境の変化や課題、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深めている。 【思考・判断・表現】 よりよい生活を創造するために、自己の意志決定に基づき責任をもって行動することや、家族の一員として役割を果たし家庭を築くことの重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想・論理的に表現するなどして解決する力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、青年期の自立と家族・家庭について、課題の解決に主体的に取り組んだり振り返って改善し、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	8
	2～4 章 子ども・高齢者・社会福祉 ～支えあい共に生きる～ ・子どもの心身の発達と生活について理解を深め、健全に育てるための親の責任について理解する。 ・子どもや親を取り巻く社会環境について理解を深め、問題を見いだして解決策を構想する。 ・高齢者の心身の特徴、高齢者を取り巻く社会環境について理解を深める。	指導事項 ・子どもの心身の発達、生活 ・子どもをとりまく課題 ・親になる ・高齢者の理解と高齢者福祉 教材 教科書、資料集、ipad classi noteの利用他	【知識・技能】 ・乳幼児期の心身の発達と生活、親の役割と保育、子どもを取り巻く社会環境、子育て支援について理解しているとともに、乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能を身につけている。 ・高齢者の心身の特徴、高齢者を取り巻く社会環境等を理解しているとともに、生活支援に関する基礎的な技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 子どもの健やかな発達のために親や家族・地域社会の果たす役割の重要性について、また高齢者の自立生活を支えるために家族や地域社会の果たす役割の重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想・論理的に表現するなどして解決する力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、「子どもの生活と保育」また「高齢期の生活と福祉」について課題の解決に主体的に取り組んだり振り返って改善し、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	8
	5章 食生活 ～楽しく安全に食べる～ ・健康や環境に配慮した食生活について理解し、食生活の計画・管理に必要な技能を身につける。 ・おいしさの構成要素や食品の調理上の性質・安全性について理解し、目的に応じた調理に必要な技能を身につける。	指導事項 ・食べ方、栄養と食品 ・栄養素の働き ・食事の計画と調理 ・調理実習 教材 教科書、資料集、ipad classi noteの利用他	【知識・技能】 栄養の特徴や食品の栄養的特質、健康や環境に配慮した食生活について理解しているとともに、自己と家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身につけている。おいしさの構成要素や食品の調理上の性質・安全性について理解しているとともに、目的に応じた調理に必要な技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 食の安全や食品の調理上の性質、食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画、健康や環境に配慮した食生活について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想・論理的に表現するなどして解決する力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、食生活と健康について課題の解決に主体的に取り組んだり振り返って改善し、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1

2 学期	5章 食生活 ～楽しく安全に食べる～ ・健康や環境に配慮した食生活について理解し、食生活の計画・管理に必要な技能を身に付ける。 ・おいしさの構成要素や食品の調理上の性質・安全性について理解し、目的に応じた調理に必要な技能を身に付ける。	指導事項 ・食品の選択、安全性 ・食事の計画と調理 ・調理実習 ・食の課題 教材 教科書、資料集、ipad classi noteの利用他	【知識・技能】 栄養の特徴や食品の栄養的特質、健康や環境に配慮した食生活について理解しているとともに、自己と家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身につけている。おいしさの構成要素や食品の調理上の性質・安全性について理解しているとともに、目的に応じた調理に必要な技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 食の安全や食品の調理上の性質、食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画、健康や環境に配慮した食生活について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想・論理的に表現するなどして解決する力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、食生活と健康について課題の解決に主体的に取り組んだり振り返って改善し、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	16
	6章 衣生活 ～選んで着る～ ・目的に応じた被服の機能と着装について理解し、健康で快適な衣生活に必要な情報の収集・整理をする。 ・環境に配慮した被服選び、被服構成や被服衛生について理解し、被服の計画・管理に必要な技能を身に付ける。	指導事項 ・衣服の選択と自分らしい衣生活 ・衣服の表示、トラブル、管理、材料、機能、流通 ・被服実習 教材 教科書、資料集、ipad classi noteの利用他	【知識・技能】 ライフステージや目的に応じた被服の機能と着装について理解しているとともに、健康で快適な衣生活に必要な情報の収集・整理ができる。環境に配慮した被服材料選び、被服構成、被服衛生について理解しているとともに、被服の計画・管理に必要な技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 被服の機能性や快適性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想・論理的に表現するなどして解決する力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、衣生活と健康について課題の解決に主体的に取り組んだり振り返って改善し、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	16
	定期考査				○	○	
3 学期	6章 衣生活 ～選んで着る～ ・目的に応じた被服の機能と着装について理解し、健康で快適な衣生活に必要な情報の収集・整理をする。 ・環境に配慮した被服選び、被服構成や被服衛生について理解し、被服の計画・管理に必要な技能を身に付ける。	指導事項 ・被服実習 ・環境に優しい衣生活 教材 教科書、資料集、ipad classi noteの利用他	【知識・技能】 ライフステージや目的に応じた被服の機能と着装について理解しているとともに、健康で快適な衣生活に必要な情報の収集・整理ができる。環境に配慮した被服材料選び、被服構成、被服衛生について理解しているとともに、被服の計画・管理に必要な技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 被服の機能性や快適性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想・論理的に表現するなどして解決する力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、衣生活と健康について課題の解決に主体的に取り組んだり振り返って改善し、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	12
	7章 住生活 ～安心して住もう～ ・ライフステージに応じた住生活の特徴、安全や環境に配慮した住居の機能について理解し、適切な住居の計画・選択・管理に必要な技能を身に付ける。 8章 消費生活 ～消費者として～ ・消費生活の現状と課題、消費行動における意思決定や契約の重要性、消費者保護のしくみを理解し、消費者の権利と責任を自覚して行動する。	指導事項 ・住まいの選択 ・ライフスタイルと関わり、安全 ・契約と消費者信用、お金の管理 ・電子商取引と問題商法 教材 教科書、資料集、ipad classi noteの利用他	【知識・技能】 ・ライフステージに応じた住生活の特徴、安全や環境に配慮した住居の機能について理解し、適切な住居の計画・選択・管理に必要な技能を身につけている。 ・消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費生活の現状と課題、消費行動における意思決定や契約の重要性、消費者保護の仕組みについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・住居の機能性や快適性、住居と地域社会との関わりについて問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想・論理的に表現するなどして解決する力を身につけている。 ・自立した消費者として、生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動することや責任ある消費について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想・論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、「住生活と住環境」「消費行動と意思決定」について課題の解決に主体的に取り組んだり振り返って改善し、地域社会に参画しようとするとともに自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査				○	○	
							合計
							78

高等学校 令和7年度（1 学年用）教科 情報 科目 情報 I

教 科： 情報 科 目： 情報 I 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（1～8 組： ）

使用教科書：（7実教 情 I 703高校情報 I Python 萩谷昌己 渡辺美智子 編（実教出版））

教科 情報 の目標：

【知識及び技能】情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについての理解を深めようとする。

【思考力、判断力、表現力等】様々な事象を情報とその結びつきと捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

科目 情報 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深める。	様々な事象を情報とその結びつきと捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。	情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	問題解決の方法 【知識及び技能】 情報やメディアの特性を踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 目的や状況に応じて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を発見・解決する方法について考えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 情報社会の問題を発見することを通して、より広く深い学びに取り組もうとする態度を身に付けさせる。	<指導事項> ・問題発見・解決の方法 ・情報やメディアの特性 <教材> ・教科書 ・副教材 ・PC教室でのデジタルワークシート	【知識及び技能】 情報やメディアの特性を踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 目的や状況に応じて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を発見・解決する方法について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 情報社会の問題を発見することを通して、より広く深い学びに取り組もうとする。	○	○	○	5
	情報セキュリティと情報社会 【知識及び技能】 情報に関する法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任および情報モラルについて理解させるとともに、情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 情報に関する法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割と責任、情報モラルなどについて、それらの背景を科学的に捉え考察させるとともに、情報と情報技術の適切かつ効果的な活用と望ましい情報社会の構築について考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 情報モラルに配慮し、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し問題解決を行うことを通して、情報社会に主体的に寄与し、参画しようとする態度を身に付けさせる。	<指導事項> ・情報に関する法規・制度 ・情報セキュリティ ・情報社会における個人の責任 ・情報技術と情報モラル ・望ましい情報社会の構築 <教材> ・教科書 ・副教材 ・PC教室でのデジタルワークシート	【知識及び技能】 情報に関する法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任および情報モラルについて理解させるとともに、情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 情報に関する法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割と責任、情報モラルなどについて、それらの背景を科学的に捉え考察させるとともに、情報と情報技術の適切かつ効果的な活用と望ましい情報社会の構築について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 情報モラルに配慮し、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し問題解決を行うことを通して、情報社会に主体的に寄与し、参画しようとする。	○	○	○	9
	定期考査（レポート）					○	
	メディアとコミュニケーション 【知識及び技能】 メディアの特性とコミュニケーション手段の特徴について、その変遷も踏まえて科学的に理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 メディアとコミュニケーション手段の関係を科学的に捉え、それらを目的や状況に応じて適切に選択させる。 【学びに向かう力、人間性等】 メディアの特性に関心を持ち、目的や状況に応じて適切にコミュニケーションを行おうとする態度を身に付けさせる。	<指導事項> ・メディアの意味 ・コミュニケーション手段の特徴 ・情報のデジタル化 <教材> ・教科書 ・副教材 ・PC教室でのデジタルワークシート	【知識及び技能】 メディアの特性とコミュニケーション手段の特徴について、その変遷も踏まえて科学的に理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 メディアとコミュニケーション手段の関係を科学的に捉え、それらを目的や状況に応じて適切に選択する。 【学びに向かう力、人間性等】 メディアの特性に関心を持ち、目的や状況に応じて適切にコミュニケーションを行おうとする。	○	○	○	8

2 学 期	コミュニケーションと情報デザイン 【知識及び技能】 情報デザインが人や社会に果たしている役割を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションの目的を明確にして、適切かつ効果的な情報デザインについて考えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 情報デザインに関心を持ち、情報デザインの考え方をういて効果的なコミュニケーションを考えようとする態度を身に付けさせる。	<指導事項> ・情報デザインが果たす役割 ・情報デザインとコミュニケーション <教材> ・教科書 ・副教材 ・PC教室でのデジタルワークシート	【知識及び技能】 情報デザインが人や社会に果たしている役割を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションの目的を明確にして、適切かつ効果的な情報デザインについて考える。 【学びに向かう力、人間性等】 情報デザインに関心を持ち、情報デザインの考え方をういて効果的なコミュニケーションを考えようとする態度を身に付ける。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	情報デザインと問題解決 【知識及び技能】 効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法を理解し表現する技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 効果的なコミュニケーションを行うための考え方や方法に基づいて表現し、評価し改善させる。 【学びに向かう力、人間性等】 情報デザインや問題解決の考え方をういて、必要なコンテンツを企画し、設計、制作、実行、評価しようとする態度を身に付けさせる。	<指導事項> ・情報デザインを活用した問題解決 <教材> ・教科書 ・副教材 ・PC教室でのデジタルワークシート	【知識及び技能】 効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法を理解し表現する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 効果的なコミュニケーションを行うための考え方や方法に基づいて表現し、評価し改善する。 【学びに向かう力、人間性等】 情報デザインや問題解決の考え方をういて、必要なコンテンツを企画し、設計、制作、実行、評価しようとする。	○	○	○	5
	コンピュータの仕組みと特徴 【知識及び技能】 コンピュータや外部装置の仕組みや特徴、コンピュータでの情報の内部表現と計算の限界について理解させる。【思考力、判断力、表現力等】 コンピュータで扱われる情報の特徴とコンピュータの能力との関係について考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 コンピュータの仕組みや扱われる情報の特徴を踏まえ、コンピュータを適切に活用するための科学的な視点を身に付けさせる。	<指導事項> ・コンピュータの内部表現 ・コンピュータの計算のしくみ ・コンピュータにおける計算の限界 <教材> ・教科書 ・副教材 ・PC教室でのデジタルワークシート	【知識及び技能】 コンピュータや外部装置の仕組みや特徴、コンピュータでの情報の内部表現と計算の限界について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 コンピュータで扱われる情報の特徴とコンピュータの能力との関係について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 コンピュータの仕組みや扱われる情報の特徴を踏まえ、コンピュータを適切に活用するための科学的な視点を身に付ける。	○	○	○	8
	定期考査（レポート）					○	
	アルゴリズムとプログラム 【知識及び技能】 アルゴリズムを表現する手段、プログラミングによってコンピュータや情報通信ネットワークを活用する方法について理解し技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 目的に応じたアルゴリズムを考え適切な方法で表現し、プログラミングによりコンピュータや情報通信ネットワークを活用するとともに、その過程を評価し改善させる。 【学びに向かう力、人間性等】 アルゴリズムやプログラミングに興味関心を持ち、プログラミングを問題解決に活用しようとする態度を身に付けさせる。	<指導事項> ・代表的なアルゴリズム ・プログラミングと情報通信ネットワーク <教材> ・教科書 ・副教材 ・PC教室でのデジタルワークシート ・オンラインツール	【知識及び技能】 アルゴリズムを表現する手段、プログラミングによってコンピュータや情報通信ネットワークを活用する方法について理解し技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 目的に応じたアルゴリズムを考え適切な方法で表現し、プログラミングによりコンピュータや情報通信ネットワークを活用するとともに、その過程を評価し改善する。 【学びに向かう力、人間性等】 アルゴリズムやプログラミングに興味関心を持ち、プログラミングを問題解決に活用しようとする。	○	○	○	9
	モデル化とシミュレーション 【知識及び技能】 社会や自然などにおける事象をモデル化する方法、シミュレーションを通してモデルを評価し改善する方法について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 目的に応じたモデル化やシミュレーションを適切に行うとともに、その結果を踏まえて問題の適切な解決方法を考えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 モデル化やシミュレーションに興味関心を持ち、シミュレーションを問題解決に活用しようとする態度を身に付けさせる。	<指導事項> ・情報のモデル化 ・モデル化とシミュレーション <教材> ・教科書 ・副教材 ・PC教室でのデジタルワークシート ・オンラインツール	【知識及び技能】 社会や自然などにおける事象をモデル化する方法、シミュレーションを通してモデルを評価し改善する方法について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 目的に応じたモデル化やシミュレーションを適切に行うとともに、その結果を踏まえて問題の適切な解決方法を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 モデル化やシミュレーションに興味関心を持ち、シミュレーションを問題解決に活用しようとする。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1

3 学 期	情報通信ネットワークの仕組み 【知識及び技能】 情報通信ネットワークのしくみや構成要素、プロトコルの役割及び情報セキュリティを確保する方法や技術について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 目的や状況に応じて、情報通信ネットワークにおける必要な構成要素を選択するとともに、情報セキュリティを確保する方法について考えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 情報通信ネットワークのしくみや構成要素に関心を持ち、情報セキュリティを適切に確保しようとする態度を身に付けさせる。	<指導事項> ・情報通信ネットワークのしくみ ・ネットワークの構成要素 ・プロトコルと階層化 ・情報セキュリティ <教材> ・教科書 ・副教材 ・PC教室でのデジタルワークシート	【知識及び技能】 情報通信ネットワークのしくみや構成要素、プロトコルの役割及び情報セキュリティを確保する方法や技術について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 目的や状況に応じて、情報通信ネットワークにおける必要な構成要素を選択するとともに、情報セキュリティを確保する方法について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 情報通信ネットワークのしくみや構成要素に関心を持ち、情報セキュリティを適切に確保しようとする。	○	○	○	9
	データベースとデータの活用 【知識及び技能】 データを蓄積、管理、提供する方法、情報通信ネットワークを介して情報システムがサービスを提供する仕組みと特徴、データを表現、蓄積するための表し方、データを収集、整理、分析する方法について理解し技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 情報システムが提供するサービスの効果的な活用について考え、データの収集、整理、分析及び結果の表現の方法を適切に選択し、実行し、評価し改善させる。 【学びに向かう力、人間性等】 情報通信ネットワークを活用したデータベースやデータの効果的な活用に関心を持ち、データを問題解決に効果的に活用しようとする態度を身に付けさせる。	<指導事項> ・データベースのしくみ ・データベースとネットワーク ・データの表現方法 ・データ収集・分析の方法 ・データの活用 <教材> ・教科書 ・副教材 ・PC教室でのデジタルワークシート	【知識及び技能】 データを蓄積、管理、提供する方法、情報通信ネットワークを介して情報システムがサービスを提供する仕組みと特徴、データを表現、蓄積するための表し方、データを収集、整理、分析する方法について理解し技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 情報システムが提供するサービスの効果的な活用について考え、データの収集、整理、分析及び結果の表現の方法を適切に選択し、実行し、評価し改善する。 【学びに向かう力、人間性等】 情報通信ネットワークを活用したデータベースやデータの効果的な活用に関心を持ち、データを問題解決に効果的に活用しようとする。	○	○	○	9
							合計
							78

高等学校

令和7年度（1学年用）教科

総合的な探究の時間

科目

総合的な探究の時間

教科：総合的な探究の時間

科目：総合的な探究の時間

単位数：1単位

対象学年組：第1学年1組～8組

教科担当者：（組：）（組：）（組：）（組：）（組：）（組：）

使用教科書：（人間と社会（東京都教育委員会）『課題探究メソッドよりよい探究活動のために』（啓林館））

教科総合的な探究の時間

の目標：

【知識及び技能】課題の発見と解決に必要な知識および技能を身に付け探究の意義や価値を理解する。

【思考力、判断力、表現力等】課題の解決に必要な情報を収集して分析し、論理的な提言内容を表現する。

【学びに向かう力、人間性等】自己の在り方生き方を考え、社会の形成者としての自覚をもち社会に貢献しようとする。

科目総合的な探究の時間

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
他の教科や総合的な探究の時間で習得する知識および技能が相互に関連づけられ、社会の中で生きて働くものとして形成されるようにする。	課題の解決のために収集した情報を類別して蓄積し、因果関係を推測したりして分析でき、論理的に表現をして提言内容を他者に伝えるようになる。	自分自身に関すること、他者や社会との関わりに関することの両方の視点をふまえ、社会に貢献しようとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 課題探究活動の基礎 【知識及び技能】 年間の進め方を把握し、探究の基礎を理解する。 情報モラル（SNSなどの情報発信および著作権等）についての的確な知識を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 調査探究活動について積極的に理解を深めようとする。	・指導事項 年間の計画の確認 研究倫理・情報モラル 課題探究のステップ ・教材 「課題探究メソッド」	【知識・技能】 ワークシートへの取組み状況により、知識の理解度を判断する。 【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りシートへの記入状況により、積極的に探究活動への理解を深めようとしているかを判断する。	○		○	4
	B 体験活動① 「学ぶ意義」について 【思考力、判断力、表現力等】 「学ぶ意義」についての講話を聴きながら、学ぶ意義を再確認する。 【学びに向かう力、人間性等】 「学ぶ意義」の講話を通して、これまでの自らの学ぶ姿勢についてふりかえり、今後の学ぶ姿勢を改善する。	・指導事項 大学教員による「学ぶ意義」についての講演を聴講する。 講演の内容を、ワークシートに整理させる。 講演を聴講した上で、自分なりの考えを文章にまとめる。 グループディスカッションを通して他者の考えを知り、自分にはない視点、考え方を理解する。 ・教材 講演のスライド ワークシート ・一人1台端末の活用 ClassiNOTEの利用	【思考・判断・表現】 講演の内容をワークシートに整理でき、講演内容に対する自分なりの考えをまとめられているか。 また、他者の考えを理解し、自分自身の考えを深められているか、提出された文章で判断する。 【主体的に学習に取り組む態度】 グループディスカッションでの発言および振り返りシートへの書き込み内容。		○	○	4
	C 課題研究の進め方 【知識及び技能】 調査探究活動における「リサーチクエスチョン」や「仮説」とは何かを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 探究したい課題の「リサーチクエスチョン」を考え「仮説」を立てる。	・指導事項 「リサーチクエスチョン」とは何か 「リサーチクエスチョン」の見つけ方 「仮説」の立て方 ・教材 「課題探究メソッド」 解説用スライド ・一人1台端末の活用 ClassiNOTEの利用	【知識・技能】 ワークシートへの取組み状況により、「リサーチクエスチョン」や「仮説」についての知識の理解度を判断する。 【思考・判断・表現】 自分が取り組みたい探究のテーマについて、「リサーチクエスチョン」を考え「仮説」が立てられているか、ワークシートへの記入状況で判断する。	○	○		3
	D 探究活動の推進 【知識及び技能】 必要となる情報を収集する方法を身につける。 収集した情報を整理し、蓄積する方法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 収集した情報を整理して、他者へ伝えられるようにまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 自らが調査探究テーマのリサーチクエスチョンに対する仮説を、積極的に検証する。	・指導事項 情報を収集する方法について。 アンケートの実施方法について、「目的の明確化」「アンケート対象」「実施期間」「実施形態」などの決め方。 実験について、「実験の目的」「対照実験」「実験データの整理方法」の決め方。 ・教材 「課題探究メソッド」 解説用スライド ・一人1台端末の活用 ClassiNOTEの利用 Office365 PowerPoint	【知識・技能】 ワークシートへの取組み状況により、知識の理解度を判断する。 【思考・判断・表現】 作成されたPowerPointをもとに、情報を整理し他者へ伝える表現力があるかを判断する。 【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りシートへの記入状況により、リサーチクエスチョンに対する仮説の検証に積極的に取り組んでいるかを判断する。	○	○	○	3

2 学 期	E 体験活動② 「グローバル社会でのリーダーシップ」について 【思考力、判断力、表現力等】 「グローバル社会でのリーダーシップ」についての講話を聴きながら、グローバル化が進む社会において、求められる資質とは何かについて考え、自分なりの意見をまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 「グローバル社会でのリーダーシップ」の講話を通して、これからのような資質を身につけ、社会に求められる人材となるのか各自の目標を立てる。	・指導事項 大学教員による「グローバル社会でのリーダーシップ」についての講演を聴講する。 講演の内容を、ワークシートに整理させる。 講演を聴講しての、自分なりの考えを文章にまとめる。 グループディスカッションを通して他者の考えを知り、自分にはない視点、考え方を理解する。 ・教材 講演のスライド ワークシート ・一人1台端末の活用 ClassiNOTEの利用	【思考・判断・表現】 講演の内容をワークシートに整理でき、講演内容に対する自分なりの考えがまとめられているか。 また、他者の考えを理解し、自分自身の考えを深められているか、提出された文章で判断する。 【主体的に学習に取り組む態度】 グループディスカッションでの発言および振り返りシートへの書き込み内容。	○	○	4
	F 中間発表 【知識及び技能】 調査探究活動の内容を、他者に分かりやすく伝えられるスライドを作成する。 【思考力、判断力、表現力等】 探究のテーマ決定の背景や、リサーチクエスチョン、仮説とその検証方法を他者へ説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の研究内容を伝えるだけでなく、他者の発表内容について、改善策などのアドバイスを行う。	・指導事項 スライドを提示して行う発表方法について 発表での話し方、伝え方について 他の生徒へのアドバイスの伝え方について ・教材 「課題探究メソッド」 ・一人1台端末の活用 Office365 PowerPoint Classiアンケート機能	【知識・技能】 作成されたPowerPointをもとにスライドの作成技術を判断する。 【思考・判断・表現】 発表の内容から他者へ伝える表現力があるかを判断する。 【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りシートへの記入やアンケートへの回答状況により、相互評価も含め積極的に取り組んでいるかを判断する。	○	○	○
3 学 期	G 探究活動発表会の見学 【思考力、判断力、表現力等】 2学年の探究活動発表会を見学し、自らの発表方法の改善に活かす。 2学年における探究活動のイメージをもつ。 【学びに向かう力、人間性等】 2学年の発表を聴いて、積極的に質問を行う。	・指導事項 発表を聴くポイント 質問をするときの注意事項 ・教材 探究活動発表会パンフレット ・一人1台端末の活用 Classiアンケート機能	【思考・判断・表現】 ワークシートへの記入内容をもとに、探究活動発表会で得た知識について確認する。 【主体的に学習に取り組む態度】 アンケート機能を用いた振り返りの中で、積極的に質問していたかを判断する	○	○	3
	H 発表会 【思考力、判断力、表現力等】 各ホームルームで調査探究活動の内容を、スライドを用いてわかりやすく発表する。 【学びに向かう力、人間性等】 相互評価を通して自らの発表をふりかえるとともに、2学年でのよりよい発表を目指す。	・指導事項 分かりやすい発表の方法について 質問をするときの注意事項 ・教材 相互評価シート ・一人1台端末の活用 Classiアンケート機能	【思考・判断・表現】 発表の内容から他者へ伝える表現力があるかを判断する。 【主体的に学習に取り組む態度】 振り返りシートへの記入やアンケートへの回答状況により、相互評価も含め積極的に取り組んでいるかを判断する。	○	○	6
	I 体験活動③ 「上級救急救命」 【知識及び技能】 救命活動の基本的な知識や方法を知り、救命活動の必要性について理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 救命活動を体験することにより、知識を持つことで社会に貢献できるようになる。	・指導事項 消防署職員による講義および実技指導 救命活動の必要性について 救命活動の基本的な知識や方法について 救命活動の実技 ・教材 「上級救急救命」テキスト 解説用スライド	【知識・技能】 救命活動の基本的な知識や方法について理解したことが、実技演習で実践できているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 講義および実技指導を受ける姿勢	○	○	8
						合計
						39